

平成 26 年 度

山形県の社会教育 2014

山 形 県 教 育 委 員 会

目次

I	平成26年度 社会教育の推進・生涯学習振興	1
II	平成26年度 社会教育・生涯学習 施策体系	2
III	平成26年度 県社会教育関係事業 年間計画	3
IV	平成26年度 社会教育・生涯学習関係 事業計画	5
	1 いのちの教育の基礎となる家庭教育と乳幼児期の教育を支援する	
	（1）家庭教育支援の充実	
	（2）幼児共育の推進	
	（3）読育の推進	
	2 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る	
	（1）少年期の教育の充実	
	（2）青年期の教育の充実	
	（3）成人期の教育の推進（4）高齢期の教育の推進	
	3 「まなび」を育み、かかわりの機会を充実するための環境をつくる	
	（1）連携協力の推進	
	（2）社会教育施設の環境整備	
	（3）社会教育推進体制の充実	
	4 県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る	
	（1）生涯学習推進体制の充実	
V	平成26年度 県社会教育施設関係事業	17
	（1）山形県立図書館	
	（2）山形県立博物館	
	（3）山形県青年の家	
	（4）山形県朝日少年自然の家	
	（5）山形県金峰少年自然の家（本館）海浜自然の家（分館）	
	（6）山形県飯豊少年自然の家	
	（7）山形県神室少年自然の家	
	（8）山形県生涯学習センター	
VI	山形県社会教育委員名簿	33
VII	統計資料等	34
	（1）山形県社会教育関係団体一覧	
	（2）青少年教育施設一覧	
	（3）視聴覚センター・ライブラリー一覧	
	（4）山形県内図書館一覧	
	（5）山形県内博物館一覧	
	（6）各市町村社会教育主管課一覧	
	（7）社会教育委員等設置状況	
	（8）社会教育関係団体等の状況	
	（9）社会教育施設等の状況	
	（10）生涯学習推進・学社連携組織等一覧	
	（11）文部科学大臣表彰一覧（過去10ヵ年）	

I 平成26年度社会教育の推進・生涯学習の振興

第5次教育振興計画

目標

知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成

テーマ

山形の教育 「いのち」そして「まなび」と「かかわり」

基本方針

- 1 「いのち」を大切に、豊かな心と健やかな体を育てる
- 2 「まなび」を通して、自立をめざす
- 3 広い「かかわり」の中で、社会をつくる
- 4 学校と地域を元気にする

第4次生涯学習振興計画

目標

一人ひとりの個性が奏であい

輝く山形の未来を拓く生涯学習

～自立、協働、創造～

施策展開の観点

- 1 自立する力と協働する力を培う学習機会の充実
- 2 連携・協働と学習環境の整備
- 3 豊かさを創造できる生涯学習の推進

平成26年度の社会教育の推進・生涯学習の振興に当たっては、第5次山形県教育振興計画の後期計画と第4次山形県生涯学習振興計画に基づき施策を展開します。

「いのち」「まなび」「かかわり」の観点に沿って社会教育の施策を実施していくとともに、「自立」「協働」「創造」の観点に沿って生涯学習の振興を図っていきます。

今年度は、「第4次山形県生涯学習振興計画」に基づく2年目であり、県民一人ひとりの個性が奏であい、輝く未来を拓く生涯学習を充実させるためにも、生涯学習振興の中核である社会教育をより一層充実させていきます。

【施策の方向性】

1 いのちの教育の基礎となる家庭教育と乳幼児期の教育を支援する

家庭の教育力向上のために、すべての親に対する学習機会や情報の提供等により、身近な地域における家庭教育支援に努めます。

また、家庭、幼稚園・保育所等、地域の大人が連携して幼児期の子どもを共に育む「幼児共育」の推進とともに、乳幼児期からの家庭における絵本の読み聞かせを普及・啓発する「読育（どくいく）」を推進することにより、乳幼児期の教育の充実をめざします。

2 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る

子どもと大人の各ライフステージに応じた、社会での学習機会の充実に努めます。

また、家庭、学校、地域が連携して、子どもたちの社会力を育成するとともに、大人自身の社会力の向上や地域の教育力の向上をめざしていきます。

3 「まなび」を育み、かかわりの機会を充実するための環境をつくる

社会教育を充実させるため、社会教育行政にかかわる職員の指導力の向上、推進体制の充実、社会教育関係団体の支援を図るとともに、教育事務所と連携して市町村の社会教育行政をよりきめ細やかに支援していきます。

また、社会教育施設が、個人の要望や社会の要請にこたえる魅力ある生涯学習の拠点施設として機能するよう整備・充実に努めます。

4 県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る

生涯学習推進委員会を設置し、関係部局等との連携・調整を図りながら、総合的に施策が展開されるように努めます。

II 平成26年度 社会教育・生涯学習 施策体系

【施策の方向性】

【重点項目】

【事業名等】

【内容等】

第5次教育振興計画

【目標】

知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成

【テーマ】

山形の教育
「いのち」
そして
「まなび」と
「かかわり」

【基本方針】

- 1 「いのち」を大切に、豊かな心と健やかな体を育てる。
- 2 「まなび」を通して自立をめざす。
- 3 広い「かかわり」の中で、社会をつくる。
- 4 学校と地域を元気にする。

【重点施策テーマ】

変化する時代を主体的に生きぬく力をはぐくむ「いのちの教育」

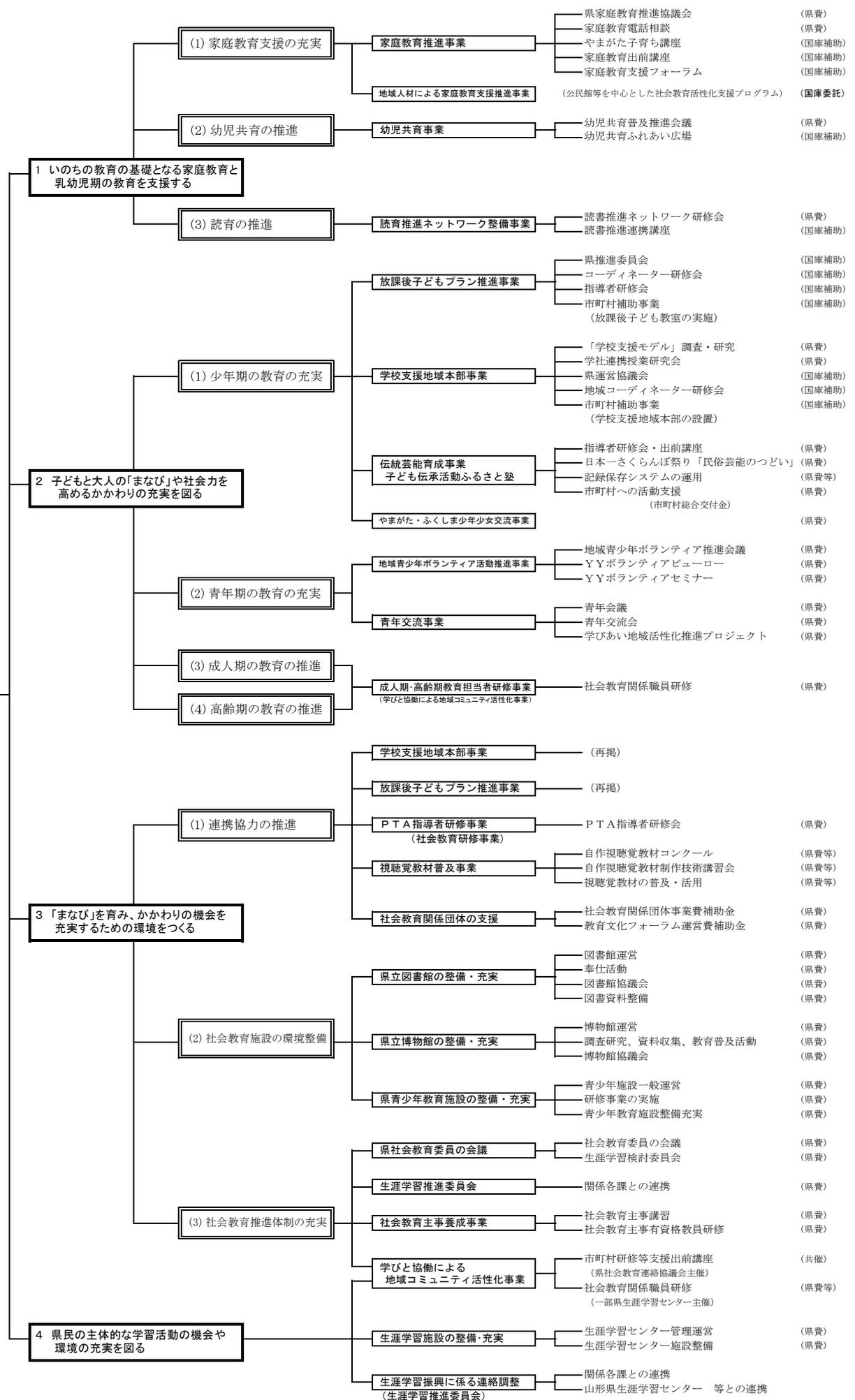
【施策展開の観点】

- 1 自立する力と協働する力を培う学習機会の充実
- 2 連携・協働と学習環境の整備
- 3 豊かさを創造できる生涯学習の推進

【目標】

一人ひとりの個性が奏であい、輝く山形の未来を拓く生涯学習～自立、協働、創造～

第4次生涯学習振興計画



Ⅲ 平成26年度 県社会教育関係事業 年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	火	木	日	火	金	月	1
2	水	金	月	水	土	火	2
3	木	土	火	木	日	水	3
4	金	日	水	金	月	木	4
5	土	月	木	土	火	金	5
6	日	火	金	日	水	土	6
7	月	水	土	月	木	日	7
8	火	木	日	火	金	月	8
9	水	金	月	水	土	火	9
10	木	土	火	木	日	水	10
11	金	日	水	金	月	木	11
12	土	月	木	土	火	金	12
13	日	火	金	日	水	土	13
14	月	水	土	月	木	日	14
15	火	木	日	火	金	月	15
16	水	金	月	水	土	火	16
17	木	土	火	木	日	水	17
18	金	日	水	金	月	木	18
19	土	月	木	土	火	金	19
20	日	火	金	日	水	土	20
21	月	水	土	月	木	日	21
22	火	木	日	火	金	月	22
23	水	金	月	水	土	火	23
24	木	土	火	木	日	水	24
25	金	日	水	金	月	木	25
26	土	月	木	土	火	金	26
27	日	火	金	日	水	土	27
28	月	水	土	月	木	日	28
29	火	木	日	火	金	月	29
30	水	金	月	水	土	火	30
31	土			木	日		31

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	水	土	月	木	日	日	わくわく雪遊びファイナル②(神室)
2	木	日	火	金	月	月	
3	金	月	水	土	火	火	わくわくスターウォッチング⑤(金峰) 生涯学習推進委員会② 県地域青少年ボランティア推進会議②(県青)
4	土	火	木	日	水	水	はじめてのフィッシング(海浜) 最上の山探訪②(神室) 自然楽校でお祭りだ!(飯豊) 視聴覚教材制作技術講習会④
5	日	水	金	月	木	木	
6	月	木	土	火	金	金	学校支援地域本部運営協議会②
7	火	金	日	水	土	土	親子でチャレンジ②(飯豊) 親子ふれあいキャンプ②(神室) わんぱく自然塾冬(金峰) 最上の山探訪③(神室) スノーランドファイナル(飯豊) 朝日どきどき広場④
8	水	土	月	木	日	日	朝日わくわく広場⑥ やきいもパーティー①(飯豊) 神室フェスティバル① やきいもパーティー②(飯豊) 神室フェスティバル②
9	木	日	火	金	月	月	ESD推進のための公民館 -CLC国際会議(岡山)
10	金	月	水	土	火	火	県社会教育研究大会(長井) やまがた・ふくしま 交流事業(飯豊) 神室めんごキャンプ② いいでクラブ④
11	土	火	木	日	水	水	朝日どきどき広場③ わんぱく自然塾秋(金峰) 建国記念の日
12	日	水	金	月	木	木	青少年教育施設合同研修会(山形市) 成人の日 青少年教育施設長会議③ 生涯学習検討委員会
13	月	木	土	火	金	金	東北社教公民館大会(秋田) 朝日わくわく広場⑦ 教育事務所社会教育主事会議④
14	火	金	日	水	土	土	いいでクラブ③ 朝日わくわく広場⑨
15	水	土	月	木	日	日	青少年教育施設長会議②
16	木	日	火	金	月	月	全国公民館研究集会(埼玉) 青年交流幹事会議②(県青)
17	金	月	水	土	火	火	朝日わくわく広場⑧
18	土	火	木	日	水	水	いいでアドベンチャーキッズ秋 社会教育関係職員研修 初任者研修②(遊学館) 青少年教育施設担当者会議③
19	日	水	金	月	木	木	青年交流幹事会議①(県青) 県家庭教育推進協議会②
20	月	木	土	火	金	金	放課後子どもプラン 推進委員会② わくわくスターウォッチング⑦(金峰)
21	火	金	日	水	土	土	青少年教育施設研修担当者会議② 国社研社教主事講習[B]~2.27 わんぱく探検隊冬(神室) いいでアドベンチャーキッズ冬 春分の日
22	水	土	月	木	日	日	全国社会教育研究大会(徳島) いいでクラブ② 青年企業推進委員会②(県青) 青年会議②(県青)
23	木	日	火	金	月	月	勤労感謝の日 天皇誕生日
24	金	月	水	土	火	火	海浜自然の家受け入れ終了 やまがた・ふくしま 交流事業(神室) 山形県いのちの教育『読 育』フェスティバル KINBOW'sゆめフェスタ 生涯倉ニューリーダーセミナー(県青) 神室ウィンターフェスティバル
25	土	火	木	日	水	水	朝日わくわく広場⑤ YYボランティアサ ミット(県青)
26	日	水	金	月	木	木	
27	月	木	土	火	金	金	
28	火	金	日	水	土	土	県社教連理事会② わくわく雪遊びファイナル①(神室)
29	水	土	月	木		日	プラネタリウム一般公開(朝日) 青年交流全県交流会
30	木	日	火	金		月	プラネタリウム一般公開(朝日) 自作視聴覚教材コンクー ル中央審査会前日準備
31	金		水	土		火	わくわくスターウォッチング⑧(金峰) 自作視聴覚教材コンクー ル中央審査会(発表会)(遊学)
		スキル別研修					

IV 平成26年度 社会教育・生涯学習関係 事業計画

1 いのちの教育の基礎となる家庭教育と乳幼児期の教育を支援する

(1) 家庭教育支援の充実

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点である。しかし、家庭を取り巻く環境の変化に伴い、子育てに不安や悩みを持つ親が増え、家庭の教育力の低下が指摘されている。

こうした今日的な家庭教育の課題に対応し、子どもたちが「いのち」輝く人間として健やかに成長していけるよう、社会全体で家庭教育を支援する体制を充実させていくことが必要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
家庭教育推進事業 ◇11年度開始、 16年度組替 22年度事業統合 4,632千円 (県費、国補助)	●目的 家庭の教育力及び地域の教育機能向上のために、親を対象に家庭教育に関する学習機会を提供するとともに、家庭教育支援者の資質向上のための研修会を実施するなど、家庭教育支援の充実を図る。 ●内容 1 県家庭教育推進協議会の設置 ・県協議会委員(12名程度) ・年間2回開催 ・県家庭教育アドバイザーの委嘱 2 家庭教育支援フォーラム(県内4地区) ・家庭教育支援者の資質向上を図る研修等 3 やまがた子育て講座(市町村補助事業)【国1/3 県1/3】 ・小学校等:30市町村203箇所予定 ・家庭教育に関する講話や座談会等 4 家庭教育出前講座(県内10箇所) ・家庭教育に関する講演や情報提供等 5 家庭教育電話相談の開設 ・「ふれあいほっとライン」継続実施	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所 市町村 教育事務所 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室
地域人材による家庭教育支援推進事業 ◇26年度開始予定 1,170千円 (国委託)	●目的 不安や悩みのある親に対して適切な支援を行うために、身近な地域の公民館等を拠点に、地域人材を中心としたシニア世代の支援体制を整え、子育て世代との融合による新たな家庭教育支援体制作りのためのモデル事業を展開する。 ●内容 【県の役割】 地域人材による家庭教育支援モデルの開発 1 家庭教育支援検討会議(年3回) 2 支援者研修会(各2回) 【市町村の役割】 子育て世代とシニア世代(地域人材)の融合による家庭教育支援の実践 1 運営会議 2 家庭教育地域相談室「ふれあいほっとカフェ」の開催 (月2回程度)	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 2市町村(委託先)

(2) 幼児共育^{ともいく}の推進

山形県では、人格形成の基礎を培う上で極めて重要な幼児期の子どもたちを、「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して共に育むことを『幼児共育』と提唱し、「山形県幼児共育アクションプログラム」を策定し、これに基づく施策を展開している。

地域社会全体で、家庭教育を支援したり、幼児期の子育てを支援したりするため、これまでの取組みで開発した「ふれあい活動プログラム」を活用した実践活動の展開により、『幼児共育』の理念や取組みを広く県民運動として定着させていく必要がある。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
幼児共育推進事業 ◇17年度開始 22年度事業統合 2,056千円 (県費、国補助)	●目的 「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して、幼児期の子どもを育む『幼児共育』の実践的な活動を推進する。 ●内容 1 幼児共育普及推進会議の設置（4地区） ・年間2回開催 ・幼児共育ポスター等の配布 2 幼児共育ふれあい広場（市町村補助事業）【国1/3 県1/3】 ・幼稚園・保育所：27市町村 127箇所予定 ・人やモノ、自然とのかかわりを通して親子のふれあいを大切にした様々な体験活動 等	教育事務所 市町村

(3) 読育^{どくいく}の推進

山形県では、学校・家庭・地域などが連携し、社会全体で子どもの読書活動に取り組む『読育（どくいく）』を推進し、「山形県子ども読書活動推進計画（第2次）」に基づいた施策を展開している。

子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、親自身が日頃から家庭での読書を心がけるとともに、乳幼児期からの読み聞かせの必要性や効果的な取組み、発達段階に応じた読書の在り方などについて理解を深めることが必要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
読育推進ネットワーク整備事業 ◇26年度開始 351千円 (県費、国補助)	●目的 子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育むために、乳幼児期からの絵本の読み聞かせの普及・啓発を図り、家庭における「読育（どくいく）」を推進する。 ●内容 1 読育推進ネットワーク研修会（県内4地区） ・乳幼児健診等における絵本の読み聞かせの普及・啓発 ・乳幼児の親子が絵本に親しむ機会を充実させる取組み 2 読育推進連携講座（2回） ・自然体験等と読み聞かせを組み合わせた魅力的な読み聞かせ講座の提供	教育事務所 県立図書館 県立博物館

2 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る

(1) 少年期の教育の充実

子どもたちの日常の遊びや生活体験を通じた学びは変化してきており、携帯型ゲーム機を介して友達と遊ぶ姿も見られ、地域における異年齢集団の外遊びが減っているとの指摘がある。また、少子化により近くに遊び相手がないなどの理由から、自然体験の減少や体力の低下も危惧されている。

また、大人同士の交流の機会も少なくなり、人間関係が希薄化し、地域のコミュニティの弱体化が進み、学校を支える「地域の地盤」がゆらいでいる地区も見られ、地域の教育力の低下が指摘されている。

少年期における体験活動や学びを支援する取組みを通して「地域の教育力」を高めつつ、子どもたちの直接的な体験活動や学びを豊かにしていくことが必要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
放課後子どもプラン推進事業 ◇19年度開始 45,982千円 (国補助)	<ul style="list-style-type: none"> ●目的 放課後や学校外活動における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、地域の教育力の向上を図る。 ●内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 県推進委員会の設置（会議：年2回） 県内全域で子どもの健全育成を図り、市町村における「放課後子どもプラン」の取組みの促進のために、十分な意見聴取を行い、関係機関や福祉部局との協力体制を構築する。 2 コーディネーター研修会の開催（年1回） 各市町村が設置するコーディネーターの資質向上や相互の情報交換を図る。 3 指導者研修会の開催（4地区ごとに年2回以上） 「放課後子ども教室」及び「放課後児童クラブ」における指導者や教員等を対象に実施する。 4 市町村補助事業の実施【国1/3 県1/3】 <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営委員会の設置 市町村の「放課後子どもプラン」の策定や、各小学校区における「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」事業の充実及び連携の方策等について協議 (2) コーディネーターの配置 学校関係者や地域の団体、ボランティア、児童クラブ関係者、保護者等を結ぶ核となる人材の配置 (3) 「放課後子ども教室」の実施 すべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得ながら地域の実情に応じて実施する学習活動や体験活動の場の確保 (4) 「放課後児童クラブ」の実施（※子育て支援課主管） 昼間、保護者が家庭にいない児童の生活の場の確保 	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所 市町村
学校支援地域本部事業 ◇H20～22年度は国委託10/10。現在は、補助事業 42,209千円 (国補助)	<ul style="list-style-type: none"> ●目的 地域住民の積極的なボランティア活動を通じて、学校と地域の一層の連携体制を構築する「学校支援地域本部」の設置を推進し、子どもと住民とのかかわりの中で地域の教育力を高めるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。 ●内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 県運営協議会の設置（会議：年2回） 地域と学校の連携や、学校支援ボランティアの活動について協議し、市町村の事業充実のために意見を聴取する。 2 地域コーディネーター研修会の開催（年1回） 地域コーディネーターの資質向上及び本事業の教育委員会、学校等への事業周知を図る。 	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室

<p>◇平成 25 年度開始</p> <p>552 千円 (県費)</p>	<p>3 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】</p> <p>(1) 実行委員会の設置 市町村全体における事業の企画・立案及び評価・成果の普及、ボランティアの研修など</p> <p>(2) 学校支援地域本部の設置 ・学校支援について協議する「地域教育協議会」の開催 ・学校と地域のボランティアをつなぐ地域コーディネーターの配置 ・学校支援ボランティアによる学校教育活動の支援</p> <p>4 学校支援体制の在り方に関する調査研究</p> <p>(1) 「学校支援モデル」調査・研究 県内 4 地区において、それぞれ一つの学校支援地域本部を指定し、各教育事務所の社会教育主事・指導主事等の助言のもと、既存の学校支援体制の充実を図る。</p> <p>(2) 学社連携授業研究会 各市町村の実態調査を行うとともに、地域の方や教員、行政関係者等を対象に研修会を開催し、「学校支援モデル」調査・研究の成果や課題等について情報発信を行う。</p>	<p>市町村</p> <p>教育事務所</p>
<p>伝統芸能育成事業 子ども伝承活動 ふるさと塾</p> <p>◇17 年度開始 (文化環境部)、 19 年度より 教育庁に移管 24 年度事業統合</p> <p>6,730 千円 (県費、国補助)</p>	<p>●目的 子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などの素晴らしい地域文化を教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進していく。</p> <p>●内容</p> <p>1 市町村への活動支援【交付金総額 10,500 千円】 市町村総合交付金によって地域文化継承の基盤づくりのために助成し、市町村への支援を図る（各市町村へ 300 千円）。</p> <p>2 記録保存システムの運用 公益財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、ふるさと塾アーカイブスのコンテンツの充実を図る。</p> <p>3 指導者の育成 地域文化の伝承に携わっている方々を対象に研修会及び出前講座を開催し、指導者の資質向上と地域の実情に応じた課題の解決をめざし、団体同士の人的ネットワークの形成を図る。</p> <p>4 子どもたちの発表機会 「日本一さくらんぼ祭り」に合わせて「民俗芸能のつどい」を開催し、継承者となる子どもたちの発表の機会を確保するとともに、来場者や観光客に本県に伝承される民俗芸能の魅力に触れてもらう。</p> <p>(1) 民俗芸能のつどい 開催日 6 月 21 日(土) 場所 七日町～本町の路上（屋外での上演）で、3ヶ所舞台設置 団体 13 団体程度（子ども 8 団体、大人 5 団体）</p>	<p>市町村</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p> <p>文化財・生涯学習課</p>

<p>やまがた・ふくしま 少年少女交流事業 ◇25年度新規</p> <p>3,602千円 (県費)</p>	<p>●目的 山形県と福島県内の児童・生徒等が交流する機会を充実させることにより、隣接県民の友情を育み、児童・生徒に「人と人とがつながる力」を育成する。</p> <p>●内容</p> <p>1 日程と会場（年4回の開催）</p> <p>(1) 春：山形県朝日少年自然の家 6月27日（金）～29日（日） 2泊3日</p> <p>(2) 夏：山形県金峰少年自然の家分館海浜自然の家 8月16日（土）～19日（火） 3泊4日</p> <p>(3) 秋：山形県神室少年自然の家 10月24日（金）～26日（日） 2泊3日</p> <p>(4) 冬：山形県飯豊少年自然の家 1月10日（土）～12日（月） 2泊3日</p> <p>2 対象</p> <p>(1) 春・秋 各回 福島県内在住の小学4年生～中学3年生 40名 山形県内の小中学生 20名程度（交流会への参加） 山形県内の高校生 20名（ボランティアスタッフ：班付）</p> <p>(2) 夏 福島県内在住の小学4年生～中学3年生 20名 山形県内の小中学生 20名程度（交流会への参加） 山形県内の高校生 10名（ボランティアスタッフ：班付）</p> <p>(3) 冬 福島県内在住の小学1年生～小学3年生までの親子 40名 山形県内の小中学生 20名程度（交流会への参加） 山形県内の高校生 20名（ボランティアスタッフ：班付）</p> <p>3 主な活動</p> <p>(1) 春：さくらんぼ狩り・流しそうめん体験等</p> <p>(2) 夏：飛島散策・カヌー体験・海水浴等</p> <p>(3) 秋：自然散策・化石発掘・芋煮会等</p> <p>(4) 冬：雪上チューブ滑り・雪遊び等</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 各少年自然の家</p>
---	---	--

(2) 青年期の教育の充実

青少年ボランティア活動については、各地の青少年ボランティアサークル活動が「山形方式」と呼ばれ地域の方々から親しまれている。こうした青少年の主体的なボランティア活動は、参加者自身の社会力向上につながるるとともに、子どもたちの学校外活動の充実に資するなど、重要な教育資源である。青少年ボランティアサークル活動の活性化に向けて、ボランティア活動を開始するきっかけとなる体験機会や、ボランティアサークル会員の意欲向上につながる交流機会、ボランティア活動をコーディネートする人材養成のための研修機会の充実が必要である。

青年層の活動については、かつて地縁的な集団として地域の中核を担っていた青年団はほぼ姿を消している一方で、活動意欲にあふれる20歳代を中心とする団体が各地で地域活動を開始するなど、地域活動が活性化する息吹が感じられている。しかし、なかなか活動の輪が広がらず活動の継続が難しいなどの課題が指摘されており、地域活動に関心を持つ青年を対象とする学習機会や交流機会の充実が必要である。

また、人とかかわりを避け、ひきこもり状態にある青年の増加という新たな課題が生じている。それらの青年を対象とした交流機会の設定や相談体制の充実により、社会参加を支援し他者とかわる力の向上を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>地域青少年ボランティア活動推進事業 ◇17年度開始 22年度事業変更</p> <p>1,268千円 (県費)</p>	<p>●目的 「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進を図り、地域青少年ボランティア活動支援センターを設置し、県民に広く情報を提供する。併せて、支援体制の整備及び研修・交流の機会を拡充しながら、人とのつながりの中で青少年の社会力の向上を目指す。</p> <p>●内容</p> <p>1 中央センター事業 (1) 山形県地域青少年ボランティア推進会議の開催(年2回) (2) YYボランティアビューローの設置 年間を通じ、各種研修・交流会・イベント等の案内、各サークルの紹介や活動状況などの情報を広く発信。青少年を対象にボランティア活動希望者と受入団体・機関をコーディネート。キャンペーンとして「季節ごとの体験ボランティア」を年2回実施。 高校生によるボランティア活動の実態を調査。 (3) YYボランティアセミナー(仮称) 県内でボランティア活動に取り組む青少年と支援者を対象とする交流会を1泊2日で実施。</p> <p>2 地区センター事業 (1) 地区地域青少年ボランティア推進会議の開催(年3回) (2) 地区YYボランティアセミナーの実施 ボランティア活動に興味・関心をもつ中・高校生を対象に、2泊3日程度の日程で、参加者の主体的な計画立案と実践活動を中心としたセミナーを実施。</p>	<p>青年の家</p> <p>教育事務所</p>
<p>青年交流事業 ◇21年度開始 (6月補正) 24年度事業変更 3,555千円 (県費)</p>	<p>●目的 地域をリードする青年の育成に向け、青年自らが企画・運営し、多くの青年が集い、学び合う「青年交流会」や「学びあい地域活性化推進プロジェクト」を開催し、青年の社会力・実践力の向上と、地域を越えたネットワークの形成を図る。</p> <p>●内容</p> <p>1 青年会議 経験豊富な青年リーダー約15名で編成し、青年による地域活動の活性化に向けて検討(年2回)。青年交流会企画運営委員会に助言・協力。全国の青年が集う研修会へ派遣。</p> <p>2 青年交流会 青年グループや個人がそれぞれの活動状況を発表したり、情報交換したりできる交流会を開催(年1回)。</p>	<p>青年の家</p> <p>青年の家</p>

	<p>3 学びあい地域活性化推進プロジェクト</p> <p>青年自身が抱えている地域課題の解決を主題とする実践的な通年の学習機会を4地区で提供。</p> <p>※2, 3は県内各市町村および青年会議委員から推薦された青年、有識者、行政関係者等で組織する青年交流会企画運営委員会に業務委託。</p>	<p>教育事務所</p>
--	--	--------------

(3) 成人期の教育の推進 (4) 高齢期の教育の推進

すべてのライフステージで学習機会が提供され、学びの成果を発揮できる環境づくりが求められており、成人期と高齢期の社会教育の充実が課題となっている。

成人期には、豊かな学習を通じて学ぶ楽しさを知り、知識や教養等を高め、その成果を社会参画や社会貢献の活動につなげていけるようにするための実践的な学習機会の提供が求められている。また、高齢期には、高齢者の知恵や経験を地域づくり等に活かし、生きがいを持って社会にかかわることができるような環境づくりが求められている。

しかし、近年これら両期を直接の対象とする社会教育事業への国や県の支援はなく、各市町村の独自の取組みに委ねている状況となっている。各市町村の現状を話し合い、課題を共有することで、ねらいに近づけるようにする。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>成人期・高齢期教育担当者研修事業 (学びと協働による地域コミュニティ活性化事業・社会教育職員研修領域別研修)</p>	<p>●目的 成人期・高齢期における社会教育の現状を調査し、豊かで活力ある地域社会を形成するため、よりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう検討していく。</p> <p>●内容</p> <p>1 市町村における成人期・高齢期の学習の調査 各市町村が開催している、成人・高齢者を対象とした講座等の開催場所や内容等を調査する。</p> <p>2 指導者研修会の開催 成人期・高齢期の社会教育の在り方について、先進事例等をもとに研修会を開催する。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 各教育事務所</p>

3 「まなび」を育み、かかわりの機会を充実するための環境をつくる

(1) 連携協力の推進

子どもたちの豊かな学びと健全な育成を支えていくためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、地域社会全体で連携・協働する取組みを支援していくことが必要である。

一方、社会教育の推進において民間団体は大きな役割を果たしていることから、社会教育関係団体の自主的かつ主体的な運営を尊重しつつ、適切な指導・助言を行うとともに、当該団体が計画的に実施する社会教育に関する事業を支援し、もって社会教育関係団体の活動の活性化を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
学校支援地域本部事業（再掲）		
放課後子どもプラン推進事業（再掲）		
PTA指導者研修事業 (社会教育研修事業) ◇S57年度開始 141千円 (県費)	●目的 PTA指導者を対象とした領域的・体系的な研修を実施し、資質向上を図ると共に、地域と学校の連携・協働の体制づくりを推進する。 ●内容 1 期日：7月5日(土) 2 場所：県生涯学習センター「遊学館」(山形市) 3 対象：小中高・特別支援各学校PTA指導者等150名 4 内容：全体講義、PTA活動の課題に関する分科会等 5 その他のPTA関係事業 ① 優良PTA表彰事業 ・県教育委員会表彰選考委員会(5月) ・優良PTA文部科学大臣表彰の推薦(6月) ② PTA研修資料作成 「これからのPTA No.44」の編集及び発行	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室
視聴覚教材普及事業 ◇21年度開始 394千円 (県費) (助成)県ライブラリー	●目的 学習ニーズの多様化への対応、郷土学習における教材を整備する必要性から、視聴覚教材の自作化を奨励するとともに、視聴覚教材の普及・啓発を図る。 ●内容 1 県自作視聴覚教材コンクール 学校教育部門・社会教育部門・児童生徒作品部門 スライド、ビデオ、紙芝居、コンピュータソフト、TP等 <中央審査会・表彰式・映像祭> ・期日：1月31日(土) ・会場：遊学館 2 県自作視聴覚教材制作技術講習会 紙芝居講座(計4回) ①7/23(水) ②8/9(土) ③8/23(土) ④10/5(日) 3 優秀教材複製及びふるさと塾アーカイブスへの掲載	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 県視聴覚ライブラリー協議会
社会教育関係団体の支援 (社会教育関係団体事業費補助金) ◇S34年度開始 346千円 (県費)	●目的 社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図る。 ●内容 事業費補助金の交付 ◇補助金名、対象団体 1 山形県社会教育連絡協議会事業費補助金 ・山形県社会教育連絡協議会【110千円】 2 婦人団体事業費補助金 ・山形県婦人連盟【84千円】 3 PTA連合会事業費補助金 ・山形県PTA連合会【46千円】 ・山形県高等学校PTA連合会【27千円】 ・山形県特別支援学校PTA連合会【37千円】 4 ボーイスカウト事業費補助金 ・ボーイスカウト山形県連盟【42千円】	文化財・生涯学習課 生涯学習振興室

<p>(教育文化フォーラム運営費補助金等)</p> <p>3,334千円 (県費)</p>	<p>●目的 教育文化の振興及び発展に資すること。</p> <p>●内容 運営費補助金等の交付</p> <p>◇補助金名、対象団体</p> <p>1 教育文化フォーラム運営費補助金等 教育文化フォーラム【3,334千円】</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
---	--	------------------------------

(2) 社会教育施設的环境整備

本県の社会教育施設には、青少年教育施設と図書館、博物館がある。県民の多様なニーズに応える魅力ある施設となるよう、それぞれの特質を生かしながら、人、自然、文化、社会とかがわる体験活動等が推進されるように努める。

また、山形県生涯学習センターについては、生涯学習振興の拠点施設として、適切かつ効率的な管理運営を行い、その機能を維持するために必要な施設整備を行うとともに、公益財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、県民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、地域の活性化を担う人材の育成及び県民の文化の振興を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>県立図書館の整備・充実</p> <p>22,819千円 (県費)</p>	<p>●目的 県民の高度化、多様化する学習ニーズに的確に対応するため、県民の学習活動の基幹施設である県立図書館の基本的機能が発揮できるよう、図書館資料の収集・整備・保存に努める。</p> <p>●内容</p> <p>1 図書資料整備充実事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般図書、専門雑誌、地域資料 ・視聴覚資料（ビデオテープ、DVD、CD、新聞記事データベース等の充実） 	<p>県立図書館</p>
<p>県立博物館の整備・充実</p> <p>4,043千円 (県費)</p>	<p>●目的 文化学術拠点としての博物館機能の強化を図り、地域への愛着や誇りを育むため、魅力ある博物館活動を展開する。</p> <p>●内容</p> <p>1 企画展、特別展の開催</p> <p>2 まなび機能強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館HPの更新、充実 	<p>県立博物館</p>
<p>青少年教育施設の整備・充実</p> <p>103,547千円 (県費・森林病虫害等防除費補助金)</p>	<p>●目的 青少年教育施設の安全性を高め、利用者が安全・安心に活動できる充実した学習の場の提供を行う。</p> <p>●内容</p> <p>1 施設の老朽化への対応等の施設整備、活動用備品の更新</p> <p>2 飯豊少年自然の家が所有する山林のナラ枯れ対策 【783千円：森林病虫害等防除費補助金 国補助1/2】</p> <p>3 太陽光発電設備を導入し、地域の防災拠点施設としての機能強化を図る。【80,080千円：グリーンニューディール(GND)基金】</p> <p>4 NPO法人との協働による青少年体験活動企画推進事業の実施 【16,024千円：起業支援型地域雇用創造事業費】</p>	<p>青少年教育施設</p>

(3) 社会教育推進体制の充実

地域住民を対象とした学習機会の提供は市町村の役割である。一方、対象者が広域にわたる事業を実施したり、市町村教育委員会への指導・助言及び支援等を行ったりすることは県の役割である。そのため、県の社会教育施設及び教育事務所社会教育課が定期的に連絡会議を開催し、社会教育行政の円滑かつ効率的な事務・事業の執行に努めながら、教育事務所が窓口となり各市町村教育委員会への指導・助言及び支援をよりきめ細やかに行っていく。

また、社会教育の専門的職員である社会教育主事を計画的に養成し、県及び市町村教育委員会における社会教育の推進を図るとともに、社会教育主事有資格教員を学社連携・融合推進体制づくりの核と位置付け、その増員を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>県社会教育委員の会議</p> <p>777千円 (県費)</p>	<p>《社会教育委員の会議》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的 行政と県民のパイプ役・橋渡し役として、教育委員会への意見具申や助言指導などを行い、本県社会教育の充実に資する。 ●日程 1回目 5月30日(火) 2回目 9月12日(木) <p>《生涯学習検討委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的 「第4次山形県生涯学習振興計画」の進捗状況を把握して、県の生涯学習推進のために必要な提言を行っていく。 ●日程 3月6日(金) 	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>社会教育主事養成事業</p> <p>◇S56年度開始 (有資格教員研修はH26年度開始)</p> <p>2,506千円 (県費)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●目的 東北大学及び国立教育政策研究所社会教育主事講習等への派遣により、社会教育推進体制の充実と、幅広い知識を身につけた教員の養成を図る。 また、学校への社会教育主事有資格者の配置と、社会教育主事有資格教員のスキルアップを図り、学校・家庭・地域の連携を促進する。 ●内容 <p>《社会教育主事講習》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象 (1) 県教育庁社会教育関係職員 (2) 公立小中学校、県立高校・特別支援学校の教員 2 実施内容 社会教育主事の資格取得のため、社会教育法第9条の5の規定に基づき東北大学等が実施する社会教育主事講習への派遣 3 日程・会場 (1) 東北大学(東北大学及び磐梯青少年交流の家) 6月下旬～8月上旬 (2) 国教研[A](社会教育実践研究センター他) 7月下旬～8月下旬 (3) 国教研[B](社会教育実践研究センター他) 1月下旬～2月下旬 4 定員等 16名 <p>《社会教育主事有資格教員研修》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象 公立小中学校の社会教育主事有資格教員 2 実施内容 (1) 最新の社会教育事情や学社連携のあり方を学ぶ。 (2) 各自の実践を持ち寄り研修し合う。 3 日程・会場 各教育事務所毎に実施 	<p>文部科学省 (東北大学) 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所</p>

<p>学びと協働による 地域コミュニティ 活性化事業 ◇S57年度開始 (H26年度再編) 369千円(県費)</p> <p>(助成) 県生涯学習センター</p>	<p>●目的 市町村の社会教育関係職員やコミュニティセンター職員等を対象とした体系的な研修を実施し、職員個々の能力向上を図り、地域コミュニティの学びと協働の体制づくりを推進する。</p> <p>●内容 1 社会教育関係職員講座 (1) 社会教育関係職員初任者講座 ① 内容：講義、ワークショップ、職種別分科会をとおして、社会教育を推進するために必要な基礎・基本を学ぶ ② 期日・場所 【1回目】 5月22日(木) 山形県生涯学習センター(遊学館) 【2回目】 11月18日(火) 山形県生涯学習センター(遊学館) ② 対象：市町村社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等のうち、経験年数が2年未満の者</p>	<p>県生涯学習文化財団 教育事務所 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>(助成) 上廣倫理財団</p>	<p>(2) 社会教育関係職員領域別講座 【家庭教育領域】 ① 内容：家庭教育アドバイザーと市町村社会教育担当職員等が一堂に会して、各地域における実践を学びあう。 ② 期日・場所 4月30日(水) 山形県生涯学習センター(遊学館) 【成人期・高齢期教育】 ① 内容：成年期・高齢期の社会教育の在り方について、先進事例やお互いの実践を通して学びあう。 ② 場所：県内4教育事務所管内 【青少年教育】 ① 内容：青少年期の社会教育の在り方について研修会を開催する。 ② 場所：県内4教育事務所管内</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所 県生涯学習文化財団</p>
<p>(助成) 県生涯学習センター</p>	<p>(3) 社会教育関係職員スキル別講座 【広報資料作成技術】 ① 内容：住民の関心を引きつける広報誌・チラシの作成技術を学ぶ。 ② 場所：山形県生涯学習センター及び庄内地区 【ファシリテート技術研修】 ① 内容：社会教育を推進する上で、住民主体の活動を作り出すために欠かせないファシリテートの技術を学ぶ。 ② 場所：山形県生涯学習センター及び庄内地区</p>	<p>県生涯学習文化財団 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所</p>
<p>(助成) 社会教育連絡協議会</p>	<p>2 市町村研修等支援事業<出前講座> ① 期日・場所：各市町村の計画による ② 対象：各市町村の社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等 ③ 内容：各市町村の計画による</p>	<p>山形県社会教育連絡協議会 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所</p>

4 県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る

(1) 生涯学習推進体制の充実

「第4次山形県生涯学習推進計画」の策定により、県として生涯学習の振興に向け、総合的に施策を実施していくための基本的な方向及び方策が明確にされた。このことを受け、県の生涯学習推進体制を整備し、各組織の連携によって、県民に対し充実した学習の機会を提供していく。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>生涯学習施設の 整備・充実 ◇平成2年度開始</p> <p>92,366千円 (県費)</p>	<p>●目的 生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（遊学館、霞城セントラル 10F）、センター分館（山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行う。</p> <p>●内容 1 生涯学習センター管理運営費 ・施設の維持管理及び使用許可等業務に係る指定管理料 (H18年度～) 指定管理者：公益財団法人山形県生涯学習文化財団</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>生涯学習推進委員会 ◇25年度開始</p>	<p>●目的 県の生涯学習推進体制を整備し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整を行い、その推進を図る。</p> <p>●内容 生涯学習推進委員会を設置し、関係部局や山形県生涯学習センターが連携し、総合的に施策が展開されるよう努める。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 関係各課</p>

V 平成26年度 県社会教育施設関係事業

(1) 山形県立図書館

☎990-0041 山形県山形市緑町一丁目2番36号

TEL 023-631-2523(代)

FAX 023-625-6520

1 運営方針

- (1) 県民の学習活動を支援する情報拠点として、県民ニーズの多様化や情報化の進展に的確に対応し、各地域社会の発展に寄与するため、市町村立図書館との連携を一層強化しながら、県立図書館が担うべき基本的な機能の充実を図る。
 - ① 生涯学習情報センター的機能
 - ② 総合的情報センター的機能
 - ③ 県内公共図書館の中心館的機能
 - ④ 地域の社会・文化センターとしての機能
- (2) 読書のための図書・資料に関する情報とともに、図書館の実施事業・運営状況、地域の課題解決に資する情報等について、ホームページや報道機関を活用して県民に積極的に提供し、図書館の周知と利用の拡大を促進する。
- (3) 図書館を取り巻く環境の変化に対応するため、中長期的な展望に立った、県立図書館の今後のあり方について検討していく。

2 主な事業

(1) 今後のあり方についての検討

インターネットの普及や東日本大震災等による県民生活・県民意識の変化や大きく様変わりする図書館が全国各地に現れるなど、県立図書館を取り巻く環境がこれまでにないほど変化してきていることから、これらに対応し、中長期的な展望に立った今後のあり方について、図書館協議会を通じて検討していく。

(2) 資料の充実

県立図書館資料収集方針に基づき、特定分野に偏らない総合的な資料整備を基本に、時代の要請にも即応した資料の整備を進める。

市町村立図書館・大学図書館等との役割分担及び利用者ニーズなどを念頭に置きながら、資料の充実に努める。

(3) 円滑な利用者サービスの確保

利用者への円滑なサービスを確保するため、カウンター業務を担当する司書職員の職場研修の充実に努める。

館内の良好な読書環境の維持や利用者の安全を確保するため、照明、換気等の室内環境に配慮するとともに、利用者のマナーの遵守を呼びかける。

(4) 図書館活動等の広報

図書館運営の状況や各種イベント、展示等の情報について、図書館のみならず県のホームページに掲載するとともに、報道機関に積極的に提供し、県民への周知を図る。

(5) 市町村立図書館（室）活動推進のための支援及び連携

インターネット予約と相互貸借の一層の利用を促進し、相互貸借等の図書館（室）間協力体制を強化しながら、県内の図書館ネットワークサービスの展開を図る。

(6) 県外図書館、官公庁、大学、各種団体等との連携

総合目録ネットワークシステムのデータ提供館として、引き続き所属データを提供していくことにより、全国の図書館との相互貸借を推進する。

官公庁及び各種団体等が主催するシンポジウム等との相乗効果を得るため、その開催会場に出向き、関連資料を展示する。

行政支援として、行政事務や政策立案に必要な資料の収集・提供や行政部局と連携した資料展示や講座等の開催に向けた取り組みを推進する。

(7) 調査相談（レファレンス）の充実

担当職員の研修の機会の確保に努め、レファレンス機能の強化を図る。

レファレンスの事例についてホームページ等で紹介するとともに、レファレンスツールの充実を図り、利用者が必要な情報を自ら獲得できるよう支援する。

(8) 展示の充実

県民の読書に親しむ環境を醸成するため、春・秋の読書週間に合わせた企画展示、子供向け及び一般向けのテーマ別展示を行うとともに、その時々々の時宜に応じた展示等を実施する。

展示内容に関する県民の意見・要望や展示の効果等の把握・検討に努め、より県民に親しまれる図書館づくりを進める。

(9) 子どもの読書活動の推進

子どもに読み聞かせを行う際に絵本を選ぶ参考となる「絵本の本棚」を引き続き作成・配布し、読み聞かせ活動を支援する。

山形県図書館協会の事務局として、同協会が実施する「学校と公立図書館の連携による子どもの読書活動推進」の取り組みを効果的に実施する。

(10) 図書館ボランティアの活用

県立図書館の愛好者の開拓や県民の図書館活動を通じた生きがいづくりに寄与するため、ボランティアの活用を図ることとし、活動内容や受入れ体制の整備を検討する。

(2) 山形県立博物館

〒990-0826 山形市霞城町1番8号

TEL 023(645)1111 FAX 023(645)1112

1 めざす博物館像

- (1) 魅力ある博物館 (2) 県民に親しまれる博物館 (3) 地域と共に歩む博物館

2 運営方針

- (1) 魅力的な企画展・イベント (2) 積極的な情報発信・広報活動の展開 (3) 学校教育への支援の充実
(4) 社会教育への支援の充実 (5) 「縄文の女神」普及活動の展開 (6) 収蔵資料の整理・保存
(7) ミュージアムグッズの充実

3 重点事項

- (1) 山形デスティネーション・キャンペーンに合わせたプライム企画展「未来に伝える山形の宝」の開催
(2) 新聞・テレビ・ラジオ等のマスメディアを活用した広報
(3) 「縄文の女神」の3Dモデルを活用した出張展示解説会の実施
(4) 小学校への博物館利用具体事例の提供
(5) 大学との連携強化と学生ボランティアの充実

4 事業計画

(1) 展示会(企画展と特別展)

- ① プライム企画展「未来に伝える山形の宝」 : 6月7日(土)～9月15日(月)
② 特別展「戦後復興とやまがたの学校」 : 10月11日(土)～12月7日(日)
③ 共同企画展「私たちのたからもの(仮称)」 : 12月20日(土)～2月15日(日)
④ 企画展「やまがたの凧」 : 2月28日(土)～5月10日(日)

(2) 教育普及事業

① 講座・教室等

ア 館長・学芸員講座 : 一般成人対象(50名程度)

7月6日(日)、7月13日(日)、7月20日(日)、11月30日(日)、12月7日(日)、12月14日(日)

イ 古文書講座(入門編) : 一般成人対象(30名程度)

5月22日(木)、6月19日(木)、7月17日(木)、8月21日(木)、9月18日(木)、
10月16日(木)、11月20日(木)、12月18日(木)、1月15日(木)、2月19日(木)

ウ 古文書講座(応用編) : 一般成人対象(50名程度)

5月23日(金)、6月20日(金)、7月18日(金)、8月22日(金)、9月19日(金)
10月17日(金)、11月21日(金)、12月19日(金)、1月16日(金)、2月20日(金)

エ 考古学講座 : 一般成人対象(50名程度)

10月18日(土)、11月15日(土)、12月13日(土)、1月24日(土)

オ ミクロの世界入門講座 : 中学生以上対象(50名程度)

5月31日(月)、9月23日(日)、11月23日(日)

カ 親子博物館教室 : 小学生とその保護者対象(各班30名)

6月21日(土) 飯豊少年自然の家、7月19日(土) 金峰少年自然の家、9月13日(土) 朝日少年自然の家

キ 夏休み体験教室 : 小学校3年生以上対象(20名程度)

8月1日(金)「化石のレプリカづくり」、8月8日(金)「体験! 勾玉づくり」

ク 読育連携推進講座 : 幼児から小学校3年生までの親子対象(30名程度)

7月31日(木): 化石体験、8月7日(木): 縄文体験

ケ 植物観察会 : 対象・人数制限無し

4月20日(日)、5月25日(日)、7月5日(土)、7月12日(土)、9月15日(月)

② イベント

ア 特別開館(入館料無料)

- ・こどもの日 [5月5日(土)] : 「おしばのしおりづくり」
・東北文化の日 [10月25日(土)・26日(日)] : 科学体験教室
・文化の日記念行事[11月3日(土)] : 科学体験教室

イ ナイトミュージアム(入館料無料)： 8月2日(土)・3日(日)

ウ 特別体験イベント

- ・楽しい!おしばのしおりづくり : 5月 5日(月)、 6月28日(土)、 8月 9日(土)、
10月19日(日)、12月 6日(土)、 2月14日(土)
- ・面白い!「化石のレプリカづくり」: 5月24日(土)、 8月 1日(金)、10月 4日(土)
- ・体験!昔の遊び道具づくり : 6月14日(土)、 8月12日(火)、 9月14日(日)、11月 3日(月)、
1月17日(土)、 3月14日(土)

エ 博物館めぐりえコンテスト(小学生以下)

応募期間： 4月26日～6月29日、 8月26日～11月30日

③ その他

ア プライム企画展記念講演会

6月29日(日)、7月26日(土)、8月23日(土)

イ 国宝「縄文の女神」解説会

4月13日(日)、6月15日(日)、8月17日(日)、10月12日(日)、12月21日(日)、2月15日(日)

ウ 展示解説会

- ・プライム企画展「未来に伝える山形の宝 ～精神(こころ)と美～」
6月7日(土)、7月12日(土)、8月3日(日)、9月6日(土)
- ・特別展「戦後復興とやまがたの学校」: 10月11日(土)、11月8日(土)
- ・友の会共同企画展「私たちのたからもの」
12月27日(土)、1月10日(土)、1月17日(土)、1月31日(土)、2月14日(土)
- ・企画展「やまがたの凧」: 2月28日(土)、3月21日(土)

エ 小学生の夏休み自由研究相談

(3) 共催事業

- ① 共同企画展「私たちのたからもの」
- ② 高校生の学芸員一日体験講座
- ③ 山形県立博物館友の会講演会
- ④ 友の会主催学習会(予定)
- ⑤ 日本薬用植物友の会講演会

(4) 博物館情報の発信

- ① 平成26年度館報
- ② 企画展図録
- ③ 研究報告
- ④ 博物館ニュース
- ⑤ 博物館ホームページ
- ⑥ 展示・催し物案内
- ⑦ 各事業案内チラシ
- ⑧ その他の広報

(5) 博学連携

- ① 高校生の学芸員一日体験講座(定員40名)
人文系:8月 5日(火)、 自然系:8月 6日(水)
- ② 博物館実習(定員12名): 8月28日(木)～9月3日(水)
- ③ 出張博物館(小学生等を対象とした学校に出向いての授業等支援;随時)
- ④ 職場体験学習の受入れ(中高生対称;随時)
- ⑤ その他(学校や社会教育機関が実施する学習・講座・研修・体験;随時)

(6) ボランティアとの協力連携

(7) 山形県立博物館友の会との協力連携

(8) 調査研究

- ① 特別展、企画展に向けての調査研究
- ② 時代に即した解説シート(電子版)の検討と作成
- ③ 平成27年度に向けた魅力ある教育普及事業の開発
- ④ 常設展示の展示内容の検討

(3) 山形県青年の家

〒994-0032 山形県天童市小路1丁目7番8号

TEL : 023-654-4545・654-4547 FAX : 023-652-2007

1 教育目標

様々な活動や交流をとおして積極的な社会参加を促し、自立と共助の精神に満ちた青少年を育成する。

2 スローガン

人と人、人と社会をつなぎ、かかわりの中から明日をひらく

3 運営方針

- (1) 人や社会とのかかわりにつながる様々な交流・体験活動の情報や機会を提供し、青少年の地域社会への主体的な参画を促し社会力の育成に努める。
- (2) 学校及び関係機関・団体との連携を図り、学校教育と社会教育の垣根を越えて次代を担う人づくりに努める。
- (3) 安全で、コミュニケーションを重視した心の通う施設運営に努め、豊かな人間関係づくりを支援しながら青少年の健全育成を目指す。

4 運営の重点

(1) 青少年ボランティアの育成・支援

- ① 青少年ボランティア活動の推進を図るため、地域青少年ボランティア推進会議を開催して諸施策について協議し事業内容の改善・充実に努める。また、Y Yボランティアビューローの充実に図り、青少年ボランティア活動の情報を広く発信するとともに、コーディネートする。
- ② 地域青少年ボランティアサークルの学びと交流を深めるとともに、サークル活動の活性化につながるよう、Y Yボランティアサミットを開催する。

(2) 次代を担うリーダーの育成

- ① 県内各地域で活動している青年サークルのネットワークを構築・発展させ、各団体の活性化を図るとともに、地域における青年リーダーを育成するため青年交流事業を推進する。
- ② 各高校の生徒会の交流を深め、新役員の資質向上を図るとともに、学校におけるリーダーを育成するため生徒会ニューリーダーセミナーを開催する。

(3) 青少年にかかわる現代的課題への対応

ひきこもりがちな青年に体験活動と若者同士の交流の機会を提供し、対人関係のスキルの向上と社会参加を促すため若者自立支援活動を推進する。

(4) 関係機関、団体等との連携

- ① 教育事務所及び市町村の社会教育主管課、学校、社会教育関係団体等との連携を強化し、かかわりを深めながら事業の広報や内容の充実に努める。
- ② 学校等への出前講座をとおして、中学・高校生等の社会体験やボランティア活動を促進する。

(5) 施設の有効利用と安全管理

- ① 管理部門と指導部門の連携を密にし、県民の多様なニーズに応えられるよう施設運営の改善及び広報に努め、施設の有効利用を図る。
- ② 定期的に施設・設備の安全点検を実施して事故防止に万全を期するとともに、防災訓練、避難誘導訓練、救急法訓練を行うなど安全管理体制の確立に努める。

(6) 職員の資質向上とO J Tの推進

- ① 社会教育・青少年教育施設の専門職員として、様々な研修の場を積極的に活用して資質向上を図る。
- ② 事業計画や実施に際しては、O J Tを推進しながらより充実した事業展開となるよう努める。

5 企画事業

中核機能	事業名	事業のねらい	事業内容	期 日	対 象	人数
青少年ボランティアの育成・支援	地域青少年ボランティア活動推進事業	山形県地域青少年ボランティア推進会議	各地域の実践、活動、事業に関する情報を交換しながら、県内の地域青少年ボランティア活動の推進に向けた諸施策等について協議する。	・ 推進会議の開催 ①6/3(火) ②3/3(火)	有識者 学校関係者 指導者	15
	YYボランティアビューロー	・中学生・高校生にYYボランティアサークルの情報を提供する。 ・一般県民へのYYボランティア認知度向上を図る。 ・ボランティア活動に参加するきっかけづくりとして地域青少年ボランティア活動への体験参加を支援する。 ・地域青少年ボランティアサークルに加えて地域での様々な活動を行い、青少年のボランティア活動に理解を示す団体等にも協力を依頼し、体験機会の拡充を図る。	・ ホームページの充実 ・ Yボラ情報の収集と発信 ・ 相談、コーディネート業務 ・ サークル訪問 ・ 体験事業の実施 ・ 出前講座	通年	一般県民	
	YYボランティアサミット	・サークル会員と一般の中学生・高校生の交流とマッチングにより活性化と会員増を図る。 ・県内のサークル会員と指導者、担当者が活動を再確認するとともに、指導体制を支援していく。	・ アイスブレイキング ・ 各サークルの活動事例発表 ・ 各種講座 ・ 交流と情報交換 ・ ワークショップ	10/25(土) ～26(日)	中学生 高校生 指導者 担当者	50
次代を担うリーダーの育成	青年交流事業	・県内の青年の人的ネットワークを構築することにより、各団体の活性化を図るとともに、青年自らの主体的な企画や運営を通して、明日の山形県を築く青年リーダーを育成する。 ・多くの青年が集う交流の場を設定することにより、青年同士の仲間づくりを進め、人のかかわりの中で公共の精神を育みながら主体的に社会に参画する青年の社会力を向上させる。	・ 青年会議 ・ 地域活性化推進プロジェクト発表会 ・ 全県交流会	青年会議 ①5/17(土) ～18(日) ②2/22(日) プロジェクト発表会 7/13(日) 全県交流会 11/29(土) ～30(日)	県内の青年	100
	生徒会ニューリーダーセミナー	・生徒会リーダーとしての自覚を促し、資質向上を図る。 ・県内高等学校生徒会のネットワーク形成を支援する。	・ アイスブレイキング ・ 学校紹介のポスターセッション ・ 講演(講座) ・ ワークショップ	1/24(土) ～25(日)	県内高校生 生徒会の新役員	100
青少年にかかわる現代的課題への対応	若者自立支援活動	・不登校から社会的ひきこもりへの遷延化防止という点において、社会教育の機能を生かした全県的な交流事業を行い、社会的ひきこもり青年に他者とかかわる機会を提供し、社会参加に向けた後押しを行う。 ・若者同士の交流により社会的ひきこもり青年の社会参加を促すと共に、交流会に参加できる若者を企画・運営にかかわらせ、同世代の青年同士がサポートするシステムづくりに取り組みながら、これからの山形を支える若者育成に資する。	・ 自然体験活動 ・ レクリエーションやゲーム ・ ティーパーティー ・ ワークショップ ・ 交流会 ・ 体験活動(ボランティア体験、農業体験等)	実行委員会 ①5/28(水) ②7/1(火) 交流会 ①8/23(土) ～24(日) (海浜) わいわいカフェ ①6/18(水) ②2/10(火)	県内のひきこもりがちな青年と支援者等	30

(4) 山形県朝日少年自然の家

〒990-1101 西村山郡大江町大字左沢字楯山2523-5
TEL 0237-62-4125 FAX 0237-62-4126

- 1 基本テーマ 『光と水と大地の中で』
～木々のみどり・風のささやき・水の鼓動～
- 2 教育目標
豊かな自然の中での野外活動や集団宿泊生活等を通して、社会力を育み、心身共に健全でたくましく生きる人間の育成に努める。
 - ◇ 自然の厳しさや優しさに触れ、自然を大切にすることを育てる。
 - ◇ 集団宿泊生活を通して、自らを律し仲間を思いやる心を養う。
 - ◇ 自然の中で心身を鍛え、主体的に実践・創造する態度を養う。
- 3 運営方針
価値ある体験活動を通して社会力を身につけ、自己実現できるよう支援する。
- 4 運営の重点
 - (1) 教育内容と支援の充実
 - ① 利用団体のねらいや実態にあったプログラム作成や、事前踏査を支援する。また、指導者が主体的に活動を仕組めるよう助言、支援する。
 - ② 学社連携プログラムの充実に向け、新たな学習プログラム開発の研究を推進する。
 - (2) 受入れ事業の拡大
 - ① 体験学習の長期化の意義をPRしつつ、小学校の他に中学校、幼稚園・保育園、特別支援学級等の利用促進を図りながら、宿泊利用の拡大策を推進する。
 - ② P T A 学年行事や子ども会、スポーツ少年団、幼稚園・保育園の利用を促進すると共に、学社連携プログラムや出前講座の充実を図りながら、日帰り利用の拡大策を推進する。
 - ③ 利用者のニーズを大切にしながら、新たな魅力あるプログラム開発に努める。
 - (3) 企画事業の充実
 - ① ボランティアスタッフの研修会を実施し、企画事業の支援や専門的技術の提供等に力を発揮できるように資質の向上に努める。
 - ② ねらいや育てたい力を明確にし、確かな力をつけたり興味関心を持たせたりする。また、自然体験や集団生活を通して、友だちや親子のかかわりを深め、主体的な行動、思いやりの心を養うようにする。
 - ③ 季節に合った活動、あっと驚く活動、自然素材を生かした活動、手間のかかる活動など自然の家ならではの魅力ある活動プログラムを企画する。
 - ④ 公共機関や関連施設・団体と連携し、専門的な知識や技能を活用した事業を展開していく。
 - ⑤ プラネタリウムなど施設の特性を生かし、プロの技にふれるなど特色ある事業を実施する。
 - (4) 施設・設備の整備、充実
 - ① 利用者のニーズを尊重しながら、活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努め、キャンプサイトのパレット化とトイレの洋式化推進を図る。
 - ② 樹木間伐や道標・野外遊具の更新、各コース設備の修繕などにより野外活動地の整備を図る。
 - ③ 自分たちの足元を常に見つめ直し、新たな発想・視点を活かし、充実した施設づくりに努める。
 - (5) 広報活動の充実
 - ① 企画事業、活動地情報、写真等、リアルタイムな情報発信を心がけホームページの充実を図る。
 - ② 本所広報紙「朝日の山並み」の充実と共に、報道機関と連携をとりながら、子ども達の活動状況を広く紹介していく。
 - (6) 安全管理の徹底
 - ① 屋内や屋外のコース・設備の安全点検を確実に実施し、安全確保と事故防止に努める。
 - ② 利用者の健康状況の把握を密に行い、健康管理の徹底を図る。
 - ③ 入所時のオリエンテーションをしっかりと行い、安全を意識して活動できるようにする。
 - (7) 朝少の家庭化
 - ① きめ細かな対応に心がけ、利用者と職員相互の信頼関係を大切にし、協力と融和をもって親しみやすい家づくりを推進する。
 - ② 事務分担を基本にしながらも、コミュニケーション、協働を大切にし、働きやすい家づくりに努める。

5 企画事業

《 主管事業 —特別事業— 》

分類	事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数
交流事業 山形・福島	やまがた・ふくしま 少年少女交流事業	山形・福島の児童・生徒の交流と山形のよさを体験いただき、明るく元気に生活できるようにする。	・宿泊体験 ・交流会 ・さくらんぼ狩り	6月27日(金) ～29日(日)	小学4年～ 中学生	40名

《 主催事業 》

分類	事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数
指導者・指導員の養成と研 修事業	利用団体指導者 セミナー	指導者が、事前に実践的な研修を行うことにより、効果的な活動プログラムを立案できるようにする。	・施設利用の仕方について ・活動プログラム実技研修 ・活動プログラムの立案・調整	4月17日(木) 5月25日(日) 8月31日(日)	利用団体の 引率指導者	団体数 に応じて
	朝少活用セミナー	利用申込をした団体や、プログラムの見直しが必要な団体について研修の機会を提供し、効果的な活動プログラムを立案できるようにする。	・活動地や施設等の状況確認 ・活動プログラムの立案 ・プログラムの見直しや修正	毎週金曜日 (午後)	利用団体の 引率指導者	団体数 に応じて
	サポーターのつどい	活動内容や支援のあり方について理解するとともに、必要な指導技術を習得する。	・実技研修 ・野外活動体験 ・事業の企画	4月12日(土) ～13日(日)	高校生～ 一般	50名
ふれあい 推進事業	チャレンジキャンプ 2014	大自然の中で仲間とともに長期にわたり野外活動をする中で、豊かでたくましく生きる力を育む。	・登山(月山) ・最上川筏下り ・キャンプ生活など	7月29日(火) ～8月3日(日)	小学4年 ～中学生	30名
	朝日どきどき広場 ① ブナの森探検隊	キャンプ初心者の子を対 象として開催する。月山ブナ林 散策をし、自然の雄大さ偉大さ を学ぶ。	・アウトドアクッキング親 子 キャンプ・天体観測 ・春の月山ブナの森探索	6月7日(土) ～8日(日)	中学生まで の子ども その保護者	15組
	朝日どきどき広場 ② 幼児キャンプと草花遊び	身近な草花を利用してできる 簡単な遊びを体験しながら 親子のふれあいを深める。	・草花遊び ・自然散策 ・テント設営	9月6日(土) ～7日(日)	幼児と その保護者	15組
	朝日どきどき広場 ③ 朝少フェスタ 2014	秋の爽りに感謝するとともに、 屋台村や創作活動に主体的にかか わり、楽しく活動できるようにす る。	・屋台村 ・もちつき ・クラフト制作など	10月11日(土) ～12日(日)	小学3年～ 中学生	80名
	朝日どきどき広場 ④ ブナ雪崩探検隊	冬のブナ林を探索すること によって、大自然の雄大さや神 秘性を体感し、自然を愛する心 を養う。	・冬の月山ブナの森探索 ・雪どうろう作り など	3月7日(土) ～8日(日)	中学生まで の子ども その保護者	15組
	朝日わくわく広場 ①～⑨	友達や家族と自然の中での 活動を楽しむことにより、自然 のすばらしさや人とのかわり の大切さを学び、生活に生か せるようにする。	・季節に応じた活動 (季節遊び、野外ゲーム、ネイチャー クラフト、トレッキングなど) ・サポーター企画	5/3 6/28 8/23 9/20 10/25 11/8 12/13 1/17 2/14	小学3年～ 一般成人 ※内容により子 ども限定	各30 ～100 名
施設 特性 事業	プラネタリウム 一般公開	プラネタリウム観望を通し、 季節の星空についての知識を 深めるとともに、生の音楽に触 れ、豊かな感性を育てる。	・生演奏や朗読を聞きながら、 季節の星座めぐり	5月10日(土) 5月11日(日) 11月29日(土) 11月30日(日)	どなたでも	各80 名

(5) 山形県金峰少年自然の家（本館） 海浜自然の家（分館）

本館 〒997-0369 鶴岡市高坂字杉ヶ沢 54-1 TEL0235-24-2400 FAX0235-25-5900

分館 〒999-8531 飽海郡遊佐町菅里字菅野 299 TEL0234-77-2166 FAX0234-77-3725

1 基本テーマ

「緑と星と海を求めて」～『本物』『仲間』『自分』を見つめよう～

2 教育目標

自然体験や集団生活体験を通して、感性を豊かにし、社会力を身につけ、自立への意欲を高めることにより、心豊かにたくましく生きる力を育てる。

《子どもたちの具体的な姿》

- 『本物』（自然・文化など）の価値を受け入れる「感性」 → 感じる…「すごい！」
- 『仲間』とともに生活をつくる「社会力」 → 支えあう…「ありがとう！」
- 『自分づくり』につながる「自立への意欲」 → やってみる…「ぼく、やる！」

3 運営方針

心豊かにたくましく生きる力の育成をめざし、本所の特色である宿泊施設と立地環境と人を最大限に活かした価値ある体験を通して、子どもたちの感動と感謝と意欲にあふれる姿の見える施設運営に努める。

4 運営の重点

(1) 自然の家の特性を生かした利用目的の達成に向けた研修支援事業の充実

- ①利用目的の明確化を促し、利用者の実態に即した効果的な活動選択と計画・実践を支援する。
- ②支援を基底にしつつ、自主活動を推奨し自立的利用を実践することで達成感を得てもらう。

(2) 今日的課題と利用者ニーズに応じた先導的な企画事業の実施

- ①社会性・課題解決力・たくましさの育成、庄内の自然・文化の理解、指導者養成、学校・幼保の支援、関係機関との連携などの今日的課題とニーズに対応した事業を企画実践する。
- ②低年齢児やリピーター層の自然体験への関心、身近で気軽な自然体験への関心、自然の家ならではの活動への期待感を取り込んだ活動プログラムを企画・実践する。

(3) 客観的で、かつ即時の事業評価と直後プランによる改善

- ①利用者アンケート、利用統計、事業反省等を総括分析し、事業の質と利便性向上に努める。

(4) 研修支援や企画実践に関する指導力向上と全職員一体となった誠意ある取り組み

- ①魅力あるプログラム開発やニーズに応じた資料作成に努めるとともに、情報発信を工夫する。
- ②企画力・指導力向上の研修に努めるとともに、指導員・施設ボランティアの育成に取り組む。
- ③利用状況や整備作業の兼ね合いを踏まえた週単位の協力体制を充実させ、所全体で実践する。

(5) 自然体験の魅力を伝え自然の家の利用を誘う広報活動の充実

- ①事業や利用案内、活動紹介、利用者の感想紹介を中心としたHPの充実を図る。
- ②所紹介や事業案内チラシの工夫、マスコミ・ロコミの効果的活用等により、利用拡大をめざす。

(6) 県民に支持される施設づくり

- ①利用者の視点から考えた施設や環境を整備し、開かれた利用しやすい施設をめざす。
- ②安全管理、安全対策、環境整備、情報提供を徹底し、安心して信頼できる施設をめざす。

5 企画事業

事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数	
自然の中で親子のふれあいを深める事業						
* はじめてのファミリーキャンプ (NPO 法人「元氣王国」との連携事業)	家族で自然を愛する気持ちを育て、家族のふれあい・参加者同士の交流の機会を提供します。	・野外炊飯(お父さんの手料理もあり)、テント泊等 キャンプの基礎体験	7/5(土) ~6(日)	キャンプ初心者 の家族	会場決定後に決定	
KINBOW ふゆフェスタ	雪国の風習や冬の遊び体験を通して、家族・仲間のふれあいの場を提供します。	・雪遊び ・正月の遊び ・冬の風習体験	1/24(土)	幼児~ 中学生と その家族	90人	
異年齢集団の交流の中で自然に親しむ心やたくまさを育てる事業						
わんぱく自然塾 ~春・夏・秋・冬 の巻~	オールシーズンキャンプを体験することで、自然の豊かさ感動する感性、仲間との協調性、自立心、忍耐力を養います。	・山キャンプ活動 ・登山 ・海キャンプ活動 ・ビバーク ・カヌー、いかだ製作 ・環境を生かした野外活動 等	春 5/24(土)~25(日) 夏 8/4(月)~8/10(日) 秋 10/11(土)~12(日) 冬 2/7(土)~8(日)	小4~ 中学生	各回 30人	
わんぱく自然塾 ~ちびっこの巻~ ①②	自然の中でキャンプ基礎体験を通して野外活動の楽しさを感じながら、友達との協調性、自立心、忍耐力を養います。	・テント泊、野外炊飯等の野外活動の基礎体験 ・自然散策等の自然体験活動	①9/13(土) ~14(日) ②9/27(土) ~28(日)	小1~ 3年生	30人	
* 大自然にい~つぽ in 神室 めんごキャンプ ①② (神室少年自然の家との連携事業)	幼児の自立する力・仲間とかかわる力を育みます。また親の自然体験や子育て支援の機会を提供します。	①自然散策、テント泊、クラフト、野外炊飯 等 ②雪あそび、クラフト、野外炊飯 等	①9/13(土) ~14(日) ②1/10(土) ~11(日)	年長児~ 小学校低学年 とその保護者	各回 親子 5組	
指導者のための研修事業						
KINBOW プログラム デザイン講座 I・II・III	利用指導者のプログラム企画力向上を図るため、体験活動や事前相談・利用団体間の活動調整をします。	・プログラム作成のための研修(活動体験・施設見学) ・団体間の活動調整	I 4/15(火) II 5/ 8(木) III 6/29(日)	利用団体 引率 指導者	何人でも	
海浜 プログラム デザイン講座 I・II			I 5/13(火) II 6/ 7(土)			
成人向け講座 (仮称)	人や自然や食など、いのちに関わる様々な関わりや体験活動を通して、理解を深めながら実践力の育成を図ります。	・仲間作りの手法、指導法習得 ・自然体験活動の研修 ・食体験活動の研修	11/9 (日)	高校生 ~一般 成人	30人	
海浜自然の家 第44期指導員 養成講座	指導員の使命と職務内容を理解し、利用者の活動支援ができるよう自然活動の基礎技能の習得を図ります。	・教育ボランティア講話 ・仲間作り、活動支援の実技講習	12/7(日)	大学生~ 一般成人	何人でも	
自然・環境への興味を広げ、施設理解を深める事業						
KINBOW 「はるフェスタ」	里山散策・観察会・登山等の活動や森林・河川の環境を考える体験をし、庄内の豊かな自然にふれる機会を提供します。	・自然散策やトレッキング ・環境学習や保全活動体験 ・季節感のあるクラフトや食体験・ゲーム 等	4/29(火)	どなたでも	何人でも	
KAIHIN 「はるフェスタ」			5/17(土)			
海浜カヌー塾 ①②	カヌー体験を通して海や川の自然にふれる機会を提供します。	・カヌー体験(海・川) ・カヌーを利用したレクリエーション	① 7/12(土) ② 7/19(土)	小学生 以上	各日 32人	
わくわく スターウォッチング ①②③④⑤⑥⑦	月や星を観察することによって天体に対する興味を喚起します。	・天体望遠鏡での月や星の観察、講話	①4/4(金)②4/25(金) ③7/18(金)④8/12(金) ⑤10/3(金)⑥10/31(金) ⑦3/20(金)	どなたでも	何人 でも	
はじめての フィッシング	釣りを通して庄内の海の楽しさを感じる機会を提供します。	・海釣り体験	10/4(土) ~5(日)	小中学生と その家族	計40人	
学習支援事業						
金峰 野あそび シリーズ	春さがし 秋さがし 雪あそび	金峰周辺の野山での活動を通して、季節の変化や特色に気付く体験の機会を提供します。	・野山の自然散策 ・植物や野鳥の観察 ・各種オリエンテーリング ・各種ハイキング ・焚き火での焼き芋(秋のみ) ・タイヤチューブすべり ・アニマルトラッキング 等	春さがし:4月~5月 秋さがし:9月~11月 雪あそび:1月~2月	幼児~ 小学校 低学年	何人でも
	金峰・ 海浜 やきいも	焼き芋を通して、秋の収穫の喜びと食育体験を提供します。	・焚き火での焼き芋	9月~10月		

(6) 山形県飯豊少年自然の家

〒 999-0605 西置賜郡大字添川 3535 - 33

TEL 0238 - 74 - 2331 FAX 0238 - 72 - 2342

1 基本テーマ **野性と冒険 (土と緑と太陽と)**

自然の中で生き生きとたくましく活動し、未知の体験に進んで取り組む人間の育成

2 教育目標

自然体験や集団生活体験，社会体験等を通して「野性味とたくましい冒険心」を培うとともに、他とのかかわりを深めることにより「生きる力」をはぐくみ、感性豊かに「いのち」輝く人間の育成に努める。

- (1) 自然に親しみ、自然を大切にする心や美しいものに感動する豊かな心を育てる。
- (2) 集団生活を通して他とのかかわりを促進し、自律・コミュニケーション力・協同・思いやり・感謝の心等を培う。
- (3) 人や自然に自ら働きかけるとともに、新たな挑戦や体験に積極的に取り組むことにより心身を鍛え、主体的に行動する態度を養う。

☆スローガン **気づく心・発見する喜び**
～ 五感を使った感動体験！～

3 運営方針

- (1) [企画事業] 施設の機能や地域の特性を生かしながら、人や自然との豊かなかかわりの中から、達成感や満足感が得られるような体験活動の充実を図る。
- (2) [支援事業] 学校や関係機関との連携を深め、利用団体のねらいや自主性を尊重した活動プログラムの編成と活動の支援を行う。
- (3) [施設利用事業] 生涯学習の視点に立ち、魅力ある体験活動プログラムの開発に努める。
- (4) [安全対策] 利用者が安心して活動できるように、施設・設備の環境整備と安全管理に努める。
- (5) [人的環境の構築] 利用者と職員の共感を大切にした接遇を基盤とし、県青少年教育施設に勤務する職員であることを自覚し、互いに研鑽し合い力量を高める。
ボランティアの拡大及び養成に努め、その活動を支援する。
- (6) [改善] 利用者の声や会議等を基に、PDCAサイクルを通して、常に改善を志向する。

4 運営の重点及び具体策

- (1) 企画事業
6領域(被災者支援、観光、環境、防災、食育、子育て)の要素と絡めた事業の創造、蓄積のノウハウへの新たな味付け、施設の特性を生かした体験活動、積極的な広報活動の推進等
- (2) 支援事業
学校や関係機関との連携、活用セミナーの充実、プログラム作成の支援、出前講座の推進等
- (3) 施設利用事業
幅広い年齢層の受け入れ、家族利用の推進、多様なニーズに対応したプログラムの開発等
- (4) 安全対策
PDCA&Cのサイクルを基にした施設設備の安全点検(日常、定期)の重視、危険回避の事前指導、クマ、スズメバチ対策、古損木のチェックと処理、避難訓練の実施等
- (5) 人的環境の構築
利用者への共感的接遇、ホームリーダー人材の育成、高校生ボランティアの開拓、職員相互の信頼関係の構築等
- (6) 改善
利用者の声を謙虚に受け止めた施設の運営、利用者やHLの意見を反映した企画の創造、運営懇談会を通じた年間総括と次年度に向けた方向性の確認等

平成26年度 山形県飯豊少年自然の家 企画事業予定一覧

区分	事業名	ねらい	主な内容	開催期日・期間	参加対象	募集人数		
親子のふれあい事業	自然大好き！いいでクラブ (全4回)	季節に応じた体験活動を通して、親子や仲間との関わりを深め、豊かな感性を育む。	自然体験活動 クラフト活動 調理・炊飯活動	① 5/11(日) ② 11/22(土) ③ 12/14(日) ④ 1/10(土)	幼児 小学生 中学生 保護者	各回 100名 程度		
	いいでファミリーキャンプ	野外宿泊体験や炊飯活動を通して、自然の中で親子そろって活動する楽しさを味わうとともに、親子のふれあいを深める。	野外宿泊体験 野外炊飯活動	8/30(土)～31(日)	幼児 小学生 中学生 保護者	10家族 程度		
	親子でチャレンジ！	自然体験活動に親子で一緒に挑戦したり、時には別々の活動に取り組んだりすることで、親子のかかわりを深めるとともに、子どもの自立のきっかけをつくる。	自然体験活動 調理・炊飯活動 宿泊体験	① 8/23(土) ② 2/7(土)～8(日)	年長児 小学生 保護者	親子 15組 程度		
	夏のオープンデー	季節に合わせた体験活動や自然物などを活用した体験屋台での活動を通して、親子や仲間とのかかわりを深め、豊かな感性を育む。	体験屋台活動	7/19(土)	どなたでも	200名 程度		
	自然楽校でお祭りだ！			10/5(日)		200名 程度		
自然体験事業	いいでアドベンチャーキッズ ～春キャンプ～	季節に応じた自然体験活動やテント生活などの宿泊体験活動を通して、異年齢の仲間との関わりを深め、豊かな感性とたくましく生きる力を育てる。	自然体験活動 野外宿泊体験 クラフト活動 炊飯活動	5/24(土)～5/25(日)	小学3年～ 中学3年 ※夏キャンプのみ 小学4年以上	各回 36名		
	いいでアドベンチャーキッズ ～夏キャンプ～			7/29(火)～8/3(日)				
	いいでアドベンチャーキッズ ～秋キャンプ～			10/18(土)～19(日)				
	いいでアドベンチャーキッズ ～冬の冒険隊～			2/21(土)～22(日)				
感性育成推進事業	めざみの春さがし	春の野山で遊んだり動植物の様子を観察したりして、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	自然観察 Fアスレチック	4月中旬～5月下旬	幼児教育施設 小学校などの 各種団体	1日 2回 程度		
	夢いっぱいどんぐり広場	秋の野山で木の実拾いをしたり焼き芋をしたりして、秋の美りを楽しむとともに、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	木の実拾い 自然観察 焼き芋体験 クラフト活動	9月上旬～10月中旬				
	もくもくやきいも体験			10月中旬～11月初旬				
	わくわくスノーランド	冬の自然体験活動を通して雪国ならではの遊びやスポーツを体験するとともに、自然への興味関心を高め豊かな感性を育む。	チューブすべり スノーハイキング など	1月中旬～3月上旬				
	夜空を見上げよう	月や星座の観望を通して、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	星座や月の観望 いいで天文台 での活動	9/19(金)			小学生 中学生 保護者	20家族 程度
	アツアツやきいもパーティー	焼き芋体験を通して秋の自然に親しみ、親子のふれあいを深める。	焼き芋体験	11/8(土)・9(日)			幼児 小学生 保護者	各回 20家族 程度
	スノーランドファイナル	チューブすべり体験を通して冬の自然に親しみ、親子のふれあいを深める。	チューブすべり	3/7(土)・8(日)				各回 50名 程度
指導者・指導員の研修事業	ボランティアセミナー	自然の家の役割やボランティア活動の意義について理解を深め、指導員としての専門的な技術の向上を図る。	講話、研修	5/10(土)	高校生以上 成人一般			
	活用セミナー(全4回)	集団宿泊体験活動や野外活動などの実施方法について研修し、当所の利用方法について理解を深めていただく。	講話、実習 利用団体調整会	① 4/17(木) ② 5/15(木) ③ 6/22(日) ④ 8/24(日)	施設利用予定 団体の指導者	希望者 全員		
	フライデーセミナー	事前に活動場所を下見したり活動内容について相談を受けたりして、当所の利用方法について理解を深めていただく。	下見、事前相談	毎週金曜日14:00～				
推進事業	大人のトレッキング塾	軽登山の楽しさを伝えるとともに、トレッキングに必要な知識や技能を習熟し、生涯学習に対する関心を高める。	登山	① 6/8(日) ② 9/27(土)	成人一般	20名 程度		
施設特性事業	いきいき体験塾	施設の特性を活かして多様なニーズに対応していくとともに、青少年に限らず幅広い年齢層の利用促進を図る。	各団体の要望 に応じて対応	11月～3月	中高年対象 の各種団体 (日帰り)	5名以上 の団体		
	体験学習サポート事業	施設の特性を活かした学習活動や近隣施設などへの広域学習を提案したり、「出前講座」を開催したりして、学校教育活動を支援する。	各学校の要望 に応じて対応	通 年	小・中学校	各校に よる		

(7) 山形県神室少年自然の家

平成26年度 神室少年自然の家運営について

基本テーマ「自然と生活と科学」～いのち輝く交流・感動体験を～

教育目標

自然（いのち）、生活（かかわり）、科学（まなび）と捉え、「自然とのかかわり」「仲間とのかかわり」「まなびの活動」を通して、心豊かな青少年の育成をめざす。

運営方針

- 自然の美しさと厳しさにふれさせ、「いのち」の大切さを基調にした自然への感性を養うとともに、自他の生命と生き方を尊重する豊かな心と健やかな身体を育てる。
- 集団での生活を通して基本的な生活習慣をつくとともに、自然や人との多様な「かかわり」の中で、高い意欲や関心・思いやり・信頼関係など豊かな社会力を養う。
- 体験活動を通して得た気づき、知識、知恵を、多様な「まなび」により生活実践にまで高めるとともに、確かな価値観を持つ自立した人間を育てる。

利用者の拡大
～より広く～

魅力的なプログラム提供
～より深く～

環境づくり・人づくり
～よりみんなで～

運営の重点

- ◇利用団体に応じた指導・支援の充実
 - ・事前打ち合わせの徹底
 - ・ガイドセミナーによる指導者の事前体験の促進
 - ・ねらいに応じたプログラムの提供
 - ・ふりかえり方法の提案
 - ・利用後の課題への即対応
- ◇新たな利用者の掘り起こし
 - ・一般開放事業の拡充
 - ・親子事業の拡充
 - ・新規事業の立ち上げ「すごe～キャンプ」
- ◇子育て研修の場としての利用促進
 - ・PTA親子行事、子ども会行事、学童クラブ行事等への支援
- ◇体験活動の意義を伝える広報活動の充実
 - ・パンフレット、ポスター、広報誌等の作成
 - ・効果的なホームページの運用

- ◇利用団体と連携したプログラム開発
 - ・特色ある宿泊体験学習校への支援のあり方の検討
 - ・幼児日帰りプログラムの共同開発
- ◇企画事業の教育効果の検証とその手法の積み上げ
 - ・ねらいの明確化、共有化
 - ・効果的に活動するための手立てとふりかえり方法の工夫
 - ・実践化に向けた手立ての検討
 - ・参加者の変容のとらえ方の検討
 - ・体験活動の手引きの作成
- ◇発達段階に応じたモデルプログラムの開発と提案
 - ・小学校中学年の宿泊学習の提案
 - ・幼児の宿泊学習への支援

- ◇安全な環境づくり
 - ・利用者目線に立った日常的な危機管理の徹底
 - ・活動に応じたマニュアルの整備と対応訓練の実施
 - ・危険な生き物への事前対策と利用者への対応
 - ・野外炊飯場、野外炊飯用具の使用前点検の徹底
- ◇魅力的な環境づくり
 - ・自然素材を利用したアスレチック遊具の開発
 - ・幼児向けの遊具の開発
- ◇施設を支える人づくり
 - ・施設職員の研修の日常化
 - ・外部研修への参加奨励
 - ・ボランティア指導員の定期的な研修の実施
 - ・企画事業を通じた研修の工夫
 - ・高校生・大学生の計画的な育成

<職場のスローガン>

安全な環境 魅力的な活動 温かい対応
～より広く・より深く・よりみんなで～

今年度の重点

- 「子育て研修の場」としての機能を果たすための幼児・低学年向けプログラム、保護者向けプログラムの開発
- 新たな利用者を掘り起こす新規事業の工夫
- 教育効果をあげるための子どもへのかかわり方、振り返りの工夫と検証
- 安全で使いやすい魅力的な環境づくり
- 積極的な職員・指導員研修の推進

平成26年度山形県神室少年自然の家 主管・企画事業 一覧

【主管事業】

分類	事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数
交流事業	やまがた・ふくしま少年少女交流事業 秋の体験 in 神室少	山形、福島の子どもの友情を育み、「人と人につながる力」を育成する。	・トレッキング ・いも煮会 ・化石発掘 ・釣り	10/24(金)～26(日)	福島県内の小4年生～小6年生 山形県内の小中学生 高校生・大学生スタッフ	20名 20名 20名

【企画事業】

指導者等研修事業	神室ガイドセミナー	施設、設備の利用の仕方や活動内容の理解を図る。	・施設利用の仕方 ・選択実技研修 ・プログラム検討	①5/14(水) ②5/27(火) ③6/17(火) ④8/19(火)	利用団体の引率指導者	計80名
	施設ボランティア指導者研修会	自然体験活動の基礎技能およびコミュニケーション力を向上させ、施設ボランティアとしての資質を高める。	・自然活動体験 ・リスクマネジメント ・プログラムの企画立案研修 ・アウトドアクッキング	①5/10(土)～11(日) ②1/24(土) ※企画事業後随時	高校生～一般人(施設ボランティアに興味のある方)	20名 ずつ
	ジュニアボランティア研修会	中学生と高校生に対して、小学生の支援者としての機会を提供し共に活動させることで、喜びと充実感を味わわせながら、ボランティア活動に対する意欲の向上を図る。	①すごe～キャンプ1回目 ②やまがた・ふくしま交流事業 ③すごe～キャンプ2回目 ※それぞれの小学生の活動支援	①8/29(金)～31(日) ②10/24(金)～26(日) ③12/6(土)～7(日)	中学1年生～高校3年生	6名 20名 6名
いのちの教育プログラム事業	川遊び体験会	川での安全な遊び方やリスクマネジメントについて、体験を通して学ぶ。	・ボディラフティング ・ボート遊び ・リスクマネジメント	6/29(日)	川遊びを計画している利用団体の指導者および川遊びに興味を持っている青少年教育指導者等	20名
	アドベンチャーキャンプ2014	仲間とともに、大自然の中で長期にわたる野外体験を行うことで、心豊かにたくましく生きる力を育む。	・事前説明会 ・キャンプ生活 ・サバイバル体験 ・登山 ・沢登り ・クラフト	<説明会>7/19(土) 8/1(金)～8/7(木) 〔6泊7日〕	小学4年生～中学3年生(説明会は保護者を含む)	30名
	わんぱく探検隊	四季に応じた様々な野外活動に取り組むことで、自主性や協調性を育む。	・登山 ・川遊び ・テント泊 ・野外炊飯 ・雪遊び	春 6/7(土)～8(日) 夏 7/12(土)～13(日) 秋 9/27(土)～28(日) 冬 2/21(土)～22(日)	小学3～4年生 大学生ボランティア	42名 春の募集のみ
子育て支援事業	親子ふれあいキャンプ	親子での自然体験を通して、自然の素晴らしさを体感したり、親子の絆を深めたりする。	・アウトドアクッキング ・雪遊び ・かんじきハイキング	①5/24(土)～25(日) ②2/7(土)～8(日)	幼児～小学生とその保護者	20組 ずつ
	大自然にいっしょ in 神室 めんごキャンプ <金峰少との共催>	他の自然の家と連携しながら、幼児が自立する力、仲間とかかわる力を育む。親の自然体験や子育て支援の機会を提供する。	・自然散策 ・クラフト ・野外炊飯 ・テント泊 ・読み聞かせ	秋 9/13(土)～14(日) 冬 1/10(土)～11(日)	年長児と小学校低学年児童およびその保護者	20組 ずつ
生涯学習	最上の山探訪	登山などの体験を通して、大自然の雄大さや神秘性などを体感する。	①縦走登山 ②紅葉トレッキング ③スノーシュートレッキング	①6/14(土) ②10/4(土) ③3/7(土)～8(日)	一般(18歳以上)	30名 ずつ
広域連携	フィールドワーク 共生の森もがみ	「課題発見能力」「課題探求能力」「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「行動力」「社会性」の基礎的な力を身につける。	・企画事業への協力 ・事業の企画と運営 ・子どもたちの活動の支援	前期① 6/7(土)～8(日) 前期② 7/12(土)～13(日) 後期① 12/6(土)～7(日) 後期② 1/10(土)～11(日)	山形大学の学生	12名 ずつ
学社連携融合事業	学校教育サポート事業	小中学校で、自然の家のプログラムを活用しながら教育効果の向上を図る。	・学習への支援 ・仲間作りへの支援	①9/2(火)～11/30(日) ②12/2(火)～2/27(金) ③3/3(火)～3/31(火)	最北地区内の小中学校・幼稚園・保育所	約3000名
	プログラム開発共同研究事業	幼稚園や保育所、学校における教育活動をより効果的なものにするためのさまざまなプログラムを共同で開発する。	・幼児プログラムの開発 ・各学校の目的にあったプログラムの開発と研究	年間を通じて実施	年間3回以上利用の学校等	15校 程度
	宿泊学習モデル事業	対象校と連携を図りながら、宿泊体験学習の充実を目指し、プログラム立案から評価まで支援、協力する。	・プログラム作成 ・支援の検討、実践 ・教育効果の検証	7/1(火)～4(金) 真室川小 7/2(水)～4(金) 真室川北部小 8/21(木)～22(金) 月桶小	3泊以上の学校および全校生での宿泊利用学校	3校
一般開放事業	神室オープナー		・野外散策 ・山菜とりと調理 ・アウトドアゲーム	5/10(土)	どなたでも	60名
	神室フェスティバル	少年自然の家を広く開放し、四季に応じたさまざまな自然体験や野外炊飯活動、人と関わる活動等を通して、体験活動の動機付けを図る。	・化石発掘 ・野外炊飯 ・トレッキング ・クラフト制作	①11/8(土) ②11/9(日)	どなたでも	計200名
	神室ウィンターフェスティバル		・雪遊び ・クラフト制作 ・かんじきハイキング	1/25(日)	どなたでも	100名
	わくわく雪遊びウィンターファイナル		・チューブすべり ・スノーラフティング ・かんじきハイキング	①2/28(土) ②3/1(日)	どなたでも	計40名

(8) 山形県生涯学習センター事業計画

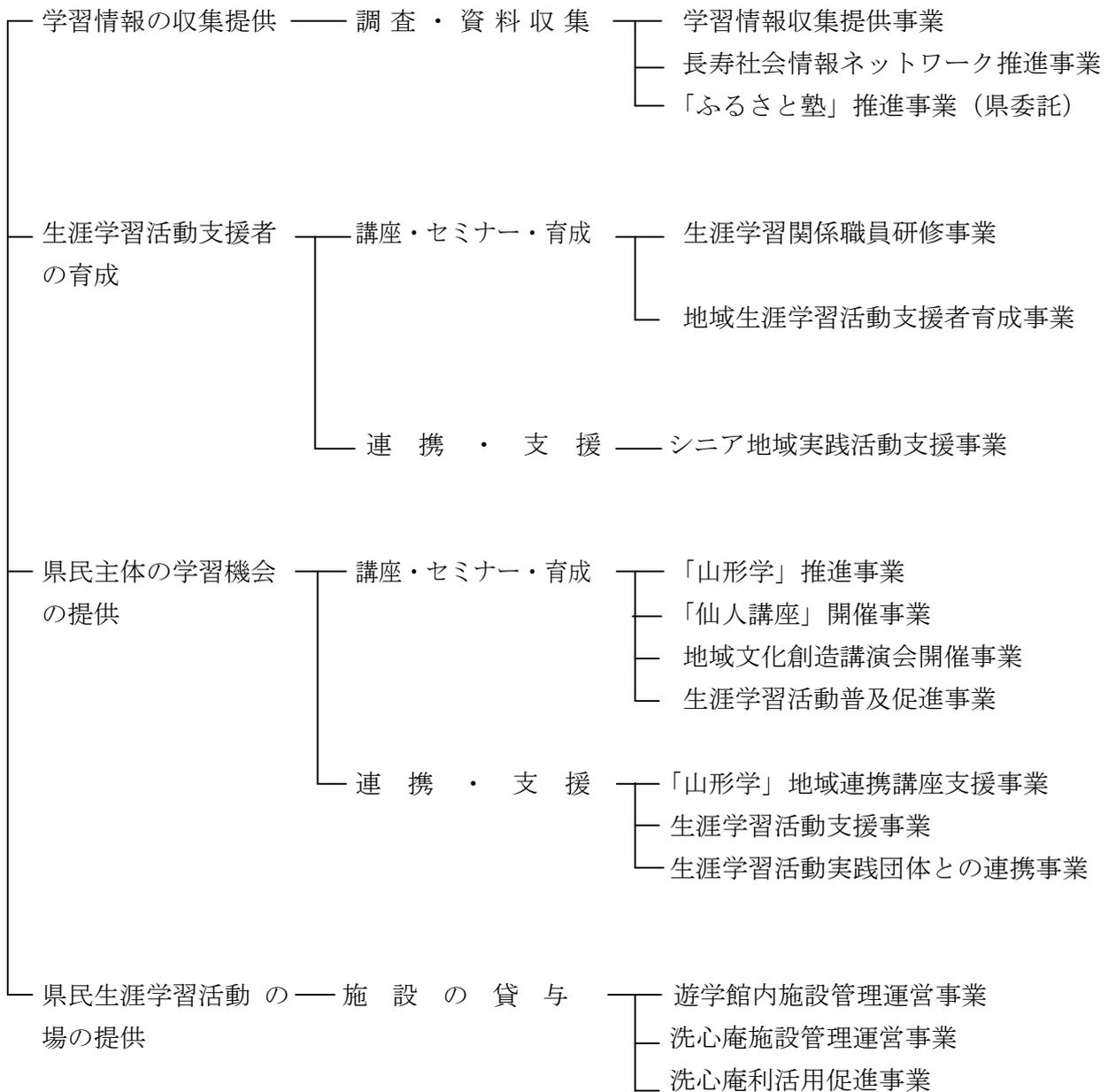
〒990-0041 山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

TEL (023) 625-6411 FAX (023) 625-6415

- 1 設置目的 県民の生涯にわたる自主的な学習活動を総合的に支援、助長し、県民一人ひとりの心豊かな生活の創造と地域社会の振興並びに地域の活性化を担う人材の育成を図る。
- 2 運営主体 公益財団法人 山形県生涯学習文化財団
- 3 基本的機能と役割
本県の生涯学習振興の中核施設として、県民及び県内外の生涯学習関連施設とのネットワークの形成を図る基本的機能を持つとともに、次のような役割を担う。
 - (1) 講座・研修等各種生涯学習事業の開発及び実施
 - (2) 生涯学習振興に関する調査研究
 - (3) 学習情報の整備、提供及び相談
 - (4) 学習者相互の交流・研鑽・発表に係る機会及び場の提供並びに支援
- 4 運営の基本方針
 - (1) 関係機関と連携し、県民に親しまれる生涯学習センターの運営を図る。
 - (2) 地域学を推進するとともに、県民が主体的に学ぶ機会を提供する。
 - (3) 学習情報の整備・充実を図り県民に提供するとともに、調査研究を行う。
 - (4) 主体的な学習活動への支援を行うとともに、地域の指導者等人材の育成を図る。
- 5 事業の考え方
生涯学習部門については、昨年度から取り組んでいる「生涯学習情報システム」の再構築を完成させ、新システムでの情報提供を開始するとともに、多くの県民に生涯学習に取り組んでもらうための普及啓発として、広報紙の新規発行を含めて、財団の事業活動と事業成果についての広報を強化する。
指定管理部門については、新たに生涯学習センター分館「洗心庵」の指定管理業務を受託するほか、各施設について県民の利用しやすい環境づくりと県民サービスの向上、施設利用のPR活動を行い、施設利用率の向上を図っていく。

6 事業体系

【県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業】



VI 平成26年度 山形県社会教育委員名簿

No.	氏名	性別	役職	備考
1	あんどう こうき 安藤 耕己	男	山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科准教授	学識経験者
2	おだしま たてお 小田島健男	男	元遊佐町教育長 元県生涯学習センター学習振興部長	学識経験者
3	おちあい ようこ 落合 陽子	女	庄内町学校支援地域本部事業コーディネーター	社会教育関係
4	かどわき ゆみ 門脇 由美	女	県青年会交流事業青年会議委員 金山町青年サークル「WAGE☆スターズ！」元代表	社会教育関係
5	かなざわ かずこ 金澤 和子	女	県家庭教育アドバイザー 前県男女共同参画センター館長	家庭教育関係
6	くろき よしひさ 黒木 善久	男	県子ども会育成連合会事務局次長	社会教育関係
7	さいとう あきら 齋藤 彰	男	舟形町社会教育指導員 元最上教育事務所社会教育課長、元神室少年自然の家所長	社会教育関係
8	さとう まひと 佐藤 真人	男	山形市立第三中学校校長 山形県中学校長会からの推薦	学校教育関係
9	すずき りえこ 鈴木 理枝子	女	山形市立大曾根小学校校長 山形県連合小学校長会からの推薦	学校教育関係
10	たかはし えみ 高橋 エミ	女	NPO法人「ほっと」理事長 元置賜地区子育てサポートネットワーク協議会会長	家庭教育関係
11	たけだ まりこ 武田 真理子	女	東北公益文科大学准教授	学識経験者
12	たなか ゆうこ 田中 裕子	女	はつらつシニアの情報誌「えがおdeねっと」編集発行人	社会教育関係
13	にへい ひろみ 二瓶 ひろみ	女	高島町和田地区学校支援地域本部コーディネーター	社会教育関係
14	やまかわ としはる 山川 敏春	男	山形新聞社論説委員長	学識経験者
15	よしだ としあき 吉田 敏明	男	山形県立山形西高等学校校長 山形県高等学校長会からの推薦	学校教育関係

山形県社会教育委員の会議のテーマ（過去10年間）

平成11.12年度	テーマを設定せず、青少年教育施設のあり方や青少年育成の方策について、研究討議を行った。
平成13.14年度	「これからの青少年教育施設のあり方」
平成15年度	「第5次山形県教育振興計画」の策定に向けた「これからの社会教育行政のあり方について」
平成16.17年度	「これからの公民館のあり方」
平成18年度	特に設定せず
平成19年度	「山形県立青少年教育施設のあり方」
平成20.21年度	「社会全体の教育力向上に向けた学校・家庭・地域の連携のあり方」
平成22年度	特に設定せず
平成23.24年度	「第4次山形県生涯学習振興計画」の策定
平成25年度～	「第4次山形県生涯学習振興計画」進捗状況等に関する検討

Ⅶ 統計資料等

(1) 山形県社会教育関係団体一覧

平成26年5月1日現在

団 体 名	団 体 の 目 的	事 業 内 容
山形県社会教育連絡協議会 会長 舩田 忠雄 山形市松波 2-8-1 県教育庁文化財・生涯学習課内 TEL 023-630-2872	社会教育法に基づく社会教育委員・公民館の連絡提携を図り、住民のニーズが反映された社会教育のあり方を考究し、もって本県生涯学習の振興に寄与する。	①社会教育委員・公民館職員等の研修に関すること ②社会教育諸計画立案・公民館事業に関する調査研究 ③社会教育に関する情報や資料の収集、交換に関すること
山形県子ども会育成連合会 会長 山口 四郎 山形市鉄砲町 2-19-68 村山総合支庁本庁舎内 TEL 023-642-5315	子ども会の健全な育成と福祉の増資を図る。	①子ども会育成連合会相互の連絡と関係機関団体との連携調整 ②子ども会に関する調査研究、情報交換、資料の作成 ③子ども会指導者の養成と確保 ④子ども会活動の安全対策の普及充実 ⑤子どもたちの健全育成のための環境整備の推進
ボーイスカウト山形県連盟 連盟長 吉村 美栄子 山形市旅籠町 2-5-12 山形メディアタワー内 TEL 023-633-7995	日本連盟の目的、基本及び諸規約並びにその方針に従い、地域内のこの運動を推進し、地区相互間並びに同様の目的を有する県連盟地域内の他の団体との間に友好関係を図る。	目的達成のための指導者養成並びにスカウトの開発運動
山形県婦人連盟 会長 丹 スワ子 山形市鉄砲町 2-19-68 村山総合支庁附属棟内 TEL 023-622-0441	加盟団体の連携協調と育成発展を図り、婦人の地位を向上し、民主的な明るい社会の建設につとめ、生活を創造し社会の福祉を増進し、その結果を結集して文化の発展に寄与する。	①加盟団体との連絡並びに育成 ②加盟団体に対する情報及び資料の提供と機関紙発行 ③各種他団体並びに県外及び全国婦人団体との連絡提携 ④理事会において決定する大会並びに運動及び事業 ⑤本連盟の所管する施設運営
山形県PTA連合会 会長 新関 徳次郎 山形市十日町 1-6-6 県保健福祉センター内 TEL 023-631-0055	県内各PTAとの連絡を密にして本県教育の振興と児童生徒の健全な成長を図る。	①児童生徒の健全育成事業の推進 ②各都市PTAとの連絡提携、及び活動推進 ③PTAに関する諸問題の調査、研究と広報活動 ④研修活動の助成 ⑤各県PTAとの交流 ⑥教育関係機関ならびに諸団体との連絡強化
山形県高等学校PTA連合会 会長 鬼海 瑞光 寒河江市大字西根字石川西 355 村山総合支庁西庁舎内 TEL 0237-85-0070	県下公立高等学校のPTAの連絡を密にして教育の振興を図る。	①加盟PTAの助成並びに相互の連絡 ②教育に関する研究調査（健全育成、進路対策、調査広報、その他）並びに研修
山形県特別支援学校PTA連合会 会長 加藤 祐一 新庄市大字金沢字金沢山 1894-4 新庄養護学校内 TEL 0233-22-3041	県内PTAの連絡を密にして、障害児教育の振興に寄与する。	①単位PTA連絡提携及び活動促進 ②単位PTA相互の研修 ③単位PTA会長相互の連絡・研修 ④県教育委員会及び関係官庁に対する意見の具申 ⑤関係諸団体との連絡提携
山形県視聴覚ライブラリー協議会 会長 岩崎 雄策 山形市松波 2-8-1 県教育庁文化財・生涯学習課内 TEL 023-630-2831	地区視聴覚ライブラリーの円滑なる運営に寄与し、本県視聴覚教育の振興発展を図る。	①地区視聴覚ライブラリー相互の連絡提携 ②地区視聴覚ライブラリー相互の教材資料の交換 ③地区視聴覚ライブラリー運営に関する調査研究
ガールスカウト日本連盟山形県支部 連盟長 辻原 吉子 山形市十日町 1-6-6 県保健福祉センター内 TEL 023-623-8909	少女と若い女性が自らの可能性を最大限に伸ばしながら、どんなことでも挑戦できる自信を持ち、責任ある世界市民に育つことを目指す。	①指導者養成講座開催 ②指導者の研修 ③県内各団の交流 ④広報紙発行 ⑤組織拡充 ⑥関係諸団体との連携提携

(注)「団体の目的」及び「事業内容」は団体の規約等による

(2) 青少年教育施設一覧

No.	名 称	住 所	電 話	F A X
1	山形県青年の家	〒994-0032 天童市小路1-7-8	023-654-4545	023-652-2007
2	山形県朝日少年自然の家	〒990-1101 大江町大字左沢字楯山2523-5	0237-62-4125	0237-62-4126
3	山形県金峰少年自然の家	〒997-0369 鶴岡市大字高坂字杉ヶ沢54-1	0235-24-2400	0235-25-5900
4	山形県金峰少年自然の家海浜自然の家	〒999-8531 遊佐町大字菅里字菅野299	0234-77-2166	0234-77-3725
5	山形県飯豊少年自然の家	〒999-0605 飯豊町大字添川字関山3535-33	0238-74-2331	0238-72-2342
6	山形県神室少年自然の家	〒999-5301 真室川町大字川の内字水上山3414-5	0233-62-2611	0233-62-2613
7	山形市少年自然の家	〒990-0361 山辺町大字畑谷字板橋3725	023-643-8533	023-643-8574
8	山形市児童文化センター	〒990-0826 山形市霞城町1-4	023-644-2352	023-644-9443
9	尾花沢市徳良湖青少年研修センター	〒999-4441 尾花沢市大字延沢3636-13	0237-22-0550	0237-22-0550
10	米沢市青年の家	〒992-0012 米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6926
11	米沢市児童会館	〒992-0052 米沢市丸の内1-3-47	0238-23-0161	0238-21-7494
12	鶴岡市大鳥自然の家	〒997-0622 鶴岡市大鳥字寿岡112	0235-55-2946	0235-55-2946
13	大中島自然ふれあい館	〒999-6609 庄内町立谷沢字大谷1-3	0234-59-2225	0234-59-2225

(3) 視聴覚センター・ライブラリー一覧

No.	名 称	所 在 地	電 話	F A X
1	山形県視聴覚センター	〒994-0021 天童市大字山元犬倉津2515 (山形県教育センター内)	023-654-2155	023-654-2159
2	東南村山地区視聴覚教育協議会	〒990-2484 山形市籠田1-2-23 (山形市西部公民館内)	023-645-1223	023-645-8330
3	西村山地区視聴覚教育協議会	〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西333 (寒河江市文化センター内)	0237-86-5111	0237-86-2201
4	北村山視聴覚教育センター	〒995-0035 村山市中央1-3-6	0237-55-4211	0237-55-4959
5	最上広域市町村圏事務組合教育研究センター	〒996-0079 新庄市千門町17-26 (最上広域教育研究センター内)	0233-22-1033	0233-22-1735
6	東南置賜地区視聴覚教育協議会 (東南置賜地区視聴覚ライブラリー)	〒992-0012 米沢市金池3-1-14 (米沢市視聴覚センター内)	0238-21-6111	0238-21-6020
7	西置賜地区視聴覚教育協議会 (西置賜地区視聴覚ライブラリー)	〒993-0054 長井市清水町1-25-1	0238-84-7677	0238-88-5883
8	庄内視聴覚事業推進連絡会	〒997-1301 三川町大字横山字袖東7-1 (庄内教育事務所内)	0235-68-1983	0235-66-3015
9	米沢市視聴覚センター	〒992-0012 米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6020
10	鶴岡市中央公民館	〒997-0046 鶴岡市みどり町22-36	0235-25-1050	0235-25-1052

(平成26年4月現在)

形態	設置者	所管	宿泊定員	キャンプ場定員	事業開始	建物総面積	敷地面積	No.
青年の家(宿泊型)	山形県	教育委員会	214		S42	3,687	9,342	1
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	200	S49	3,720	79,620	2
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	300	S51	3,940	79,092	3
少年自然の家	山形県	教育委員会	210	180	S46	3,818	143,236	4
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	300	S56	4,181	100,548	5
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	300	S60	3,819	174,000	6
少年自然の家	山形市	教育委員会	224	640	S54	3,822	313,465	7
児童文化センター	山形市	教育委員会			S38	504	2,056	8
その他	尾花沢市	商工観光課	40	100	S61	1,848	4,406	9
青年の家(宿泊型)	米沢市	教育委員会	60		S50	1,085	4,476	10
児童文化センター	米沢市	教育委員会			S58	1,716	4,638	11
その他	鶴岡市	教育委員会	100	130	S61	1,618	9,662	12
その他	庄内町	教育委員会		50	H14	1,564	9,555	13

設置根拠	運営形態	教材保有数		教材貸出数(25年度実績)		講習会・研修会の回数		No.
		16ミリ映画	録画教材	16ミリ映画	録画教材	16ミリ映画	その他	
条例	単独	1,005	1,240		2			1
規約等	協議会	152	1,124	91	1,024	2		2
規約等	協議会	185	1,629	100	454	1	1	3
条例	一部事務組合	499	5,270	400	4,354	2	45	4
規則	一部事務組合	458	1,328	109	26	2		5
規約等	協議会	339	161	2	3,995			6
規約等	協議会	135	629	7	678	1		7
任意	その他	429	710	31	151			8
条例	単独	703	1,379	17	5,909		3	9
条例	単独	190	1,232		1	1	8	10

(4) 山形県内図書館一覧

(平成26年4月現在)

番号	図書館名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	読み聞かせ サークル登録数
1	山形県立図書館	990-0041	山形市緑町1-2-36	023-631-2523	023-625-6520	—
2	山形市立図書館	990-0035	山形市小荷駄町7-12	023-624-0822	023-624-0823	6
3	上市市立図書館	999-3143	上市市二日町10-25	023-677-0850	023-677-0826	1
4	天童市立図書館	994-0013	天童市老野森1-2-1	023-654-2440	023-654-2990	3
5	中山町立図書館	990-0401	中山町大字長崎8038-9	023-662-6688	023-662-6689	1
6	寒河江市立図書館	991-0021	寒河江市中央1-7-14	0237-86-1662	0237-86-1663	13
7	河北町立中央図書館	999-3513	河北町谷地所岡3-1-10	0237-72-2906	0237-72-2966	1
8	西川町立図書館	990-0703	西川町大字間沢280	0237-74-3131	0237-74-3219	2
9	朝日町立図書館	990-1442	朝日町大字宮宿2265	0237-67-2118	0237-67-3375	1
10	村山市立図書館	995-0034	村山市楯岡五日町14-20	0237-55-2833	0237-55-7251	2
11	東根市さくらんぼ図書館	999-3720	東根市さくらんぼ駅前1-1-1	0237-41-1040	0237-41-1048	2
12	尾花沢市民図書館	999-4225	尾花沢市若葉町1-8-25	0237-22-3746	0237-24-0093	2
13	新庄市立図書館	996-0071	新庄市小田島町4-21	0233-22-2189	0233-23-6183	16
14	市立米沢図書館	992-0012	米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6020	—
15	南陽市立図書館	999-2211	南陽市赤湯791-1	0238-43-2219	0238-43-2340	3
16	高畠町立図書館	992-0351	高畠町大字高畠426	0238-52-4493	0238-52-4493	—
17	川西町立図書館	999-0121	川西町大字上小松1037-1	0238-46-3311	0238-46-3313	2
18	長井市立図書館	993-0004	長井市神明町3-7	0238-88-2535	0238-88-1051	1
19	白鷹町立図書館	992-0831	白鷹町大字荒砥甲833	0238-87-0217	0238-85-2183	1
20	鶴岡市立図書館	997-0036	鶴岡市家中新町14-7	0235-25-2525	0235-25-2526	8
21	庄内町立図書館	999-7781	庄内町余目字三人谷地59-1	0234-43-3039	0234-43-4762	1
22	酒田市立中央図書館	998-0034	酒田市中央西町2-59	0234-24-2996	0234-24-2980	4
23	遊佐町立図書館	999-8301	遊佐町遊佐字鶴田30-1	0234-72-5300	0234-72-5301	6

(5) 山形県内博物館一覧

① 博物館法で登録されたもの

H26. 4. 1 現在

番号	名 称	所 在 地	展 示	設 置 者	開館年月日	登録年月日
1	山形県立博物館	山形市霞城町1-8 Tel 023-645-1111	総合	山形県	昭和 46. 4. 1	昭和 46. 5. 27
2	掬粹巧芸館	川西町中小松2911 Tel 0238-42-3101	美術	財団法人 掬粹巧芸館	昭和 7. 4. 6	昭和 27. 3. 10
3	公益財団法人 致道博物館	鶴岡市家中新町10-18 Tel 0235-22-1199	歴史	公益財団法人 致道博物館	昭和 25. 6. 14	昭和 27. 3. 10
4	稽照殿(上杉神社)	米沢市丸の内1-4-13 Tel 0238-22-3189	歴史	宗教法人 上杉神社	大正 12. 4. 1	昭和 27. 3. 10
5	蟹仙洞	上山市矢来4-6-8 Tel 023-672-0155	美術	公益財団法人 蟹仙洞	昭和 26. 9. 1	昭和 27. 3. 10
6	出羽三山歴史博物館	鶴岡市羽黒町手向字羽黒山33 Tel 0235-62-2355	歴史	宗教法人 出羽三山神社	大正 4. 7. 1	昭和 27. 3. 10
7	公益財団法人 山形美術館	山形市大手町1-63 Tel 023-622-3090	美術	公益財団法人 山形美術館	昭和 39. 8. 20	昭和 38. 12. 12
8	公益財団法人 本間美術館	酒田市御成町7-7 Tel 0234-24-4311	美術	公益財団法人 本間美術館	昭和 22. 5. 13	昭和 40. 6. 24
9	米沢市上杉博物館	米沢市丸の内1-2-1 Tel 0238-26-8000	総合	米沢市	昭和 42. 6. 13	昭和 42. 6. 13
10	金峯山博物館	鶴岡市青龍寺字金峯1 Tel 0235-23-7863	総合	宗教法人 金峯神社	昭和 52. 5. 21	昭和 52. 9. 28
11	公益財団法人 宮坂考古館	米沢市東1-2-24 Tel 0238-23-8530	歴史	公益財団法人 宮坂考古館	昭和 48. 3. 28	昭和 52. 11. 8
12	公益財団法人 斎藤茂吉記念館	上山市北町字弁天1421 Tel 023-672-4358	歴史	公益財団法人 斎藤茂吉記念館	昭和 43. 9. 1	昭和 60. 1. 18
13	公益財団法人 出羽桜美術館	天童市一日町1-4-1 Tel 023-654-5050	美術	公益財団法人 出羽桜美術館	昭和 63. 7. 15	平成 元. 6. 22
14	鶴岡アートフォーラム	鶴岡市馬場町13-3 Tel 0235-29-0260	美術	鶴岡市	平成 17. 8. 27	平成 19. 8. 27

② 博物館法で相当施設と指定されたもの

番号	名 称	所 在 地	展 示	設 置 者	開館年月日	登録年月日
1	山形大学附属博物館	山形市小白川町1-4-12 Tel 023-628-4930	総合	山形大学	昭和 27. 4. 17	昭和 27. 4. 17
2	天童市美術館	天童市老野森1-2-2 Tel 023-654-6300	美術	天童市	平成 2. 10. 4	平成 13. 3. 15
3	山寺芭蕉記念館	山形市大字山寺字南院4223 Tel 023-695-2221	歴史	山形市	平成 元. 3. 27	平成 25. 2. 14
4	最上義光歴史館	山形市大手町1-53 Tel 023-625-7101	歴史	山形市	平成 元. 9. 25	平成 25. 2. 14

(6)各市町村社会教育主管課一覽

①教育委員会

No.	市町村名	課(係)名	郵便番号	住 所	電 話	F A X
1	山形市	社会教育青少年課	990-8540	山形市旅籠町2-3-25	023-641-1212	023-624-8443
2	上山市	生涯学習課	999-3192	上山市河崎1-1-10	023-672-1111	023-672-3001
3	天童市	生涯学習課	994-8510	天童市老野森1-1-1	023-654-1111	023-654-3355
4	山辺町	教育課	990-0392	山辺町緑ヶ丘5	023-667-1115	023-667-1116
5	中山町	教育課	990-0401	中山町大字長崎6010	023-662-2235	023-662-5440
6	寒河江市	生涯学習課	991-0003	寒河江市大字西根字石川西333	0237-86-5111	0237-86-2201
7	河北町	生涯学習課	999-3511	河北町谷地字みどり町3-2	0237-71-1111	0237-71-1110
8	西川町	生涯学習課	990-0703	西川町大字間沢280	0237-74-3131	0237-74-3219
9	朝日町	教育文化課	990-1442	朝日町大字宮宿2265	0237-67-2118	0237-67-3375
10	大江町	教育文化課	990-1163	大江町大字本郷丁373-1	0237-62-3666	0237-62-3667
11	村山市	生涯学習課	995-8666	村山市中央1-3-6	0237-55-2111	0237-55-2155
12	東根市	生涯学習課	999-3795	東根市中央1-1-1	0237-42-1111	0237-43-1176
13	尾花沢市	社会教育課	999-4225	尾花沢市若葉町1-8-25	0237-22-1111	0237-24-0093
14	大石田町	教育文化課	999-4111	大石田町大字大石田丁236-2	0237-35-2111	0237-35-2094
15	新庄市	社会教育課	996-8501	新庄市沖の町10-37	0233-22-2111	0233-23-5600
16	金山町	教学課	999-5402	金山町金山662-1	0233-52-2902	0233-52-2903
17	最上町	教育文化課	999-6101	最上町大字向町644	0233-43-2111	0233-43-2345
18	舟形町	社会教育担当	999-4601	舟形町舟形126	0233-32-2246	0233-32-3326
19	真室川町	教育課	999-5312	真室川町大字新町233-1	0233-62-2305	0233-62-2306
20	大蔵村	生涯学習係	996-0212	大蔵村大字清水2620	0233-75-2323	0233-75-2336
21	鮭川村	教育課生涯学習係	999-5201	鮭川村大字京塚1324-2	0233-55-3051	0233-55-3053
22	戸沢村	共育課	999-6313	戸沢村大字名高1593-86	0233-72-2304	0233-72-2307
23	米沢市	社会教育・体育課	992-0012	米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6926
24	南陽市	社会教育課	999-2211	南陽市赤湯791-1	0238-50-1140	0238-50-1139
25	高島町	社会教育課	992-0392	高島町大字高島435	0238-52-4487	0238-52-5043
26	川西町	まちづくり課 (首長部局)	999-0193	川西町大字上小松1567	0238-42-6668	0238-42-2110
27	長井市	文化生涯学習課	993-0054	長井市清水町1-25-1	0238-84-7677	0238-88-5883
28	小国町	生涯学習担当	999-1352	小国町大字岩井沢704	0238-62-2141	0238-62-2143
29	白鷹町	生涯学習・文化振興係	992-0892	白鷹町大字荒砥甲833	0238-85-2111	0238-85-2183
30	飯豊町	教育文化課 生涯学習振興室	999-0604	飯豊町大字椿2888	0238-72-3111	0238-72-3163
31	鶴岡市	社会教育課	997-0346	鶴岡市上山添字文栄100	0235-57-4866	0235-57-4886
32	庄内町	社会教育課	999-6601	庄内町狩川字大釜22	0234-56-3320	0234-56-3222
33	三川町	社会教育係	997-1301	三川町大字横山字西田52-1	0235-35-7040	0235-66-4508
34	酒田市	社会教育課	998-0034	酒田市中央西町2-59	0234-24-2993	0234-24-5780
35	遊佐町	教育課社会教育係	999-8301	遊佐町遊佐字鶴田52-2	0234-72-2236	0234-71-1222

②首長部局（生涯学習）

（平成26年4月現在）

No.	市町村名	課（係）名	郵便番号	住 所	電 話	F A X
1	山形市					
2	上山市					
3	天童市	文化スポーツ課	994-8510	天童市老野森1-1-1	023-654-1111	023-654-0744
4	山辺町					
5	中山町					
6	寒河江市					
7	河北町					
8	西川町					
9	朝日町					
10	大江町					
11	村山市					
12	東根市					
13	尾花沢市					
14	大石田町					
15	新庄市					
16	金山町					
17	最上町					
18	舟形町					
19	真室川町					
20	大蔵村					
21	鮭川村					
22	戸沢村					
23	米沢市					
24	南陽市					
25	高畠町					
26	川西町	まちづくり課	999-0193	川西町大字上小松1567	0238-42-6668	0238-42-2110
27	長井市					
28	小国町					
29	白鷹町					
30	飯豊町					
31	鶴岡市	コミュニティ推進課	997-0035	鶴岡市馬場町9-25	0235-25-2111	0235-25-2997
32	庄内町					
33	三川町					
34	酒田市	まちづくり推進課	998-0043	酒田市本町2-2-45	0234-26-5725	0234-26-4911
35	遊佐町	企画課	999-8301	遊佐町遊佐字舞鶴211	0234-72-3311	0234-72-3310

(7) 社会教育委員等設置状況

(平成26年4月現在)

No.	市町村名	社会教育委員			公民館運営審議会委員 ()は社教委委員兼務数				公民館 運営 審議会 設置数	図書館協議会 委員			社会教育主事						社会教育指導員		
		計	男	女	計	男	女	計		男	女	有資格者・ 発令あり(注1)			その他(注2)			計	男	女	
												計	男	女	計	男	女				
1	山形市	15	12	3					12	4	8	1	1								
2	上山市	14	9	5	14	(13)	9	5	1	8	5	3			1	1		1		1	
3	天童市	15	11	4	190	(1)	156	34	13						3	3					
4	山辺町	10	8	2											2	2					
5	中山町	11	9	2						7	2	5			2	1	1	1		1	
6	寒河江市	14	11	3	8	(2)	7	1	1	10	5	5			3	3		5	5		
7	河北町	11	7	4	38	(11)	26	12	4						2	2					
8	西川町	12	9	3	90		78	12	13						2	1	1				
9	朝日町	7	5	2	15		10	5	3												
10	大江町	10	7	3						6	2	4			1	1		3	1	2	
11	村山市	13	10	3	13	(13)	10	3	1	6	4	2	1	1							
12	東根市	15	10	5	90	(15)	76	14	8	10	4	6									
13	尾花沢市	16	11	5	16	(16)	11	5	1	9	5	4	1	1							
14	大石田町	12	11	1	12	(12)	11	1	1												
村山計		175	130	45	486	(83)	394	92	46	68	31	37	3	3	16	14	2	10	6	4	
15	新庄市	9	7	2	14		12	2	2	5	3	2	1	1	1	1					
16	金山町	10	6	4	10	(10)	6	4	1				1	1	1	1		3		3	
17	最上町	10	7	3	10	(10)	7	3	1									1		1	
18	舟形町	9	8	1	9	(9)	8	1	1				1	1				1		1	
19	真室川町	11	7	4	11	(11)	7	4	1				3	3				2	1	1	
20	大蔵村	11	9	2	11	(11)	9	2	1				1	1	1	1		1		1	
21	鮭川村	9	6	3	9	(9)	6	3	1									1		1	
22	戸沢村	6	5	1	6	(6)	5	1	1				1	1				1		1	
最上計		75	55	20	80	(66)	60	20	9	5	3	2	8	8	3	3		10	4	6	
23	米沢市	20	14	6	20	(20)	14	6	1	15	9	6			3	3					
24	南陽市	10	8	2	10	(10)	8	2	1	5	3	2	1	1							
25	高畠町	10	6	4	10	(10)	6	4	1	5	3	2	2	2	2	2		1		1	
26	川西町	10	6	4						5	2	3	1	1							
27	長井市	12	10	2						8	3	5									
28	小国町	10	6	4	10	(10)	6	4	1									1		1	
29	白鷹町	10	6	4	10	(10)	6	4	1	10	5	5			1	1					
30	飯豊町	9	7	2	9	(9)	8	1	1												
置賜計		91	63	28	69	(69)	48	21	6	48	25	23	4	4	6	6		2	1	1	
31	鶴岡市	20	13	7	69	(3)	53	16	5	12	5	7	5	3	2	3	2	1	3	1	2
32	庄内町	14	8	6						7	3	4	1	1	1	1					
33	三川町	15	13	2	15	(15)	13	2	1				1	1				3		3	
34	酒田市	16	11	5	11		7	4	1	12	4	8	1		1	2	2	5	3	2	
35	遊佐町	7	5	2						7	4	3						4	1	3	
庄内計		72	50	22	95	(18)	73	22	7	38	16	22	8	5	3	6	5	1	15	5	10
合計		413	298	115	730	(236)	575	155	68	159	75	84	23	20	3	31	28	3	37	16	21

(注1) 有資格者・発令ありとは、任用資格を有し、かつ、市町村教育委員会に社会教育主事として任用されている者をいう。

(注2) その他とは、(注1)に該当しない者をいう。

(8) 社会教育関係団体等の状況

(平成26年4月現在)

No.	関係団体	地域青少年 ボランティアサークル		子ども会育成会 (△は、一部組織・加盟等)			青年団		婦人会 (△は、一部組織・加盟等)			
		サークル数	会員数	会数	市町村 連合	県連加入	団体数	団員数	会数	市町村 連合	県婦連 加入	県婦連 会員数
1	山形市	2	13	436	○	○						
2	上山市	1	13	80	○	○						
3	天童市	1	15	117	○	○	4	69	41	○	○	3,165
4	山辺町	1	16	61	○	○						
5	中山町	1		31		○			1	—	○	23
6	寒河江市	1	3	102	○	○						
7	河北町	2	12	96	○	○	1	26	86	○	○	1,848
8	西川町	1	6	24					9	○	○	775
9	朝日町	2	6	38	○	○						
10	大江町	2	21	42	○	○						
11	村山市	1	19	9	○				7	○	○	420
12	東根市	1	10	113	○	○			4	○	○	170
13	尾花沢市	2	15	62					32	—	○	201
14	大石田町	1	12	37					1	○	—	—
村山計		19	161	1,248	10	10	5	95	181	6	7	6,602
15	新庄市	3	30									
16	金山町	1		31					22	○	○	360
17	最上町	1	7	39								
18	舟形町	1	15	23			1	12				
19	真室川町	1	21	45								
20	大蔵村	1	3	23					1	—	○	25
21	鮭川村	2	2	15	○	○			17	○	○	130
22	戸沢村	1	6	16								
最上計		11	84	192	1	1	1	12	40	2	3	515
23	米沢市	3	86	49	○	○						
24	南陽市	5	75	122	○		2	40	3	—	○	97
25	高畠町	3	159	110	○							
26	川西町	1	40	72			2	78	1	—	○	46
27	長井市	3	49	118	○	○						
28	小国町	2	30	29					1	—	○	40
29	白鷹町	1	15	70	○	○						
30	飯豊町	1		49		○			1	—	○	42
置賜計		19	454	619	5	4	4	118	6		4	225
31	鶴岡市	5	82	387	△	△			12	○	○	1,616
32	庄内町	7	54	110					1	○	○	130
33	三川町	1	8	27	○							
34	酒田市	5	73	147	○	○			13	—	○	1,668
35	遊佐町	1	21	79	○				6	—	—	—
庄内計		19	238	750	4	2			32	2	3	3,414
合計		68	937	2,809	20	17	10	225	259	10	17	10,756

(9) 社会教育施設等の状況

(平成26年4月現在)

No.	市町村名	公民館数(注1)			公民館職員数									公民館 類似 施設 (注2) 設置数	コミュニ ティ センタ ー等(注 3)設置 数	青少年 教育 施設	図書館 (図書室)		
		計	内 数			中 央			地 区			分 館							
			中央	地区	分館	館長	主事	その他	館長	主事	その他	館長	主事					その他	公民館 利用者数 (25年度)
1	山形市	8		8				8	18	17				403,851	300	20	2	1	
2	上山市	11	1	10		1	2	1	10	3	27			75,270	71			1	
3	天童市	104		13	91				13	13	12	91	91	158,811				1	
4	山辺町	10	1	6	3	1	3	5	6	3	8	3		116,240	29			(1)	
5	中山町	2	1	1		1	1		1					26,238	24			1	
6	寒河江市	66	1	4	61	1		2	4		8	61	61	106,531	12			1	
7	河北町	85	1	4	80	1			3	3	6	80	80	105,300				1	
8	西川町	14	1	13		1	1		13	13	13			41,375	28			1	
9	朝日町	4	1	3		1	5	1	3	3	3			33,877	53			1	
10	大江町	3	1	2		1		4	2		8			43,414	44			(1)	
11	村山市	1	1			1								—	99	8		1	
12	東根市	8	1	7		1	9	1	7		22			98,153	86			1	
13	尾花沢市	72	1	5	66	1	3	1	5	5	5	66		82,067				1	
14	大石田町	31	1		30	1	1	3				30	30	30	36,948				(1)
村山計		419	12	76	331	12	25	18	75	61	129	331	262	34	1,328,075	746	28	2	11(3)
15	新庄市	2		2					2		2			17,972	101			1	
16	金山町	1	1			1		8						12,560	31			(1)	
17	最上町	44	1	3	40	1		7	3		1	40		33,460				(1)	
18	舟形町	1	1			1		4						12,563	25			(1)	
19	真室川町	58	1	2	55	1		6	2			55		15,316		1		(1)	
20	大蔵村	1	1			1		8						13,791	20			(1)	
21	鮭川村	1	1			1		5						14,078	45			(1)	
22	戸沢村	1	1			1		8						17,454	31			(1)	
最上計		109	7	7	95	7		46	7		3	95		137,194	253	1		1(7)	
23	米沢市	1	1			1		10						94,403	222		2	1	
24	南陽市	9	1	8		1	3	4	8	7	8			121,539				1	
25	高畠町	6	1	5		1	4	1	5	5	10			66,987	97			1	
26	川西町	1	1			1								34,450	121			1	
27	長井市	6		6					6	14				70,850	87			1	
28	小国町	2		2										2,352	39	1		(1)	
29	白鷹町	83	1	6	76	1	2	1	6	12		76	76	39,979				1	
30	飯豊町	67		5	62				5	10		62		43,596				(1)	
置賜計		175	5	32	138	5	9	16	30	48	18	138		76	474,156	566	1	2	6(2)
31	鶴岡市	11	1	10		1		14	10	8	12			371,587	356	26		1(分館5)	
32	庄内町	9	1	8		1	4		8	21				115,390	92		1	1(分館1)	
33	三川町	1	1			1	3	4						27,312	27			(1)	
34	酒田市	1	1			1		14						166,912	356	35		2(分館3)	
35	遊佐町													—	98	6	1	1	
庄内計		22	4	18		4	7	32	18	29	12			681,201	929	67	2	5(10)	
合 計		725	28	133	564	28	41	112	130	138	162	564	262	110	2,620,626	2,494	97	6	23(22)

(注1) 「公民館(中央、地区、分館)」とは、社会教育法第24条に基づき市町村条例で規定された施設をいう。

(注2) 「公民館類似施設」とは、市町村教育委員会が所管する社会教育法第42条に規定する施設以外をいう。
※従来の地域公民館、集落公民館等で(注1)、(注3)に該当しないもの。

(注3) 「コミュニティセンター等」とは、市町村が条例で定め、市町村首長部局が所管する地域活動の拠点施設をいう。

(10) 生涯学習推進・学社連携組織等一覧

(平成26年4月現在)

No.	市町村	生涯学習推進組織等 ()は設置年度 ※名称の市町村名は省略		
		行政関係者のみで構成	行政及び有識者等で構成	委員は行政以外で構成
1	山形市			
2	上山市	生涯学習推進本部(H11)		
3	天童市	地域づくり推進行政会議(H9)	地域づくり推進委員会(H12)	各地域づくり委員会(H9)
4	山辺町			
5	中山町			
6	寒河江市		生涯学習推進本部(H7)	
7	河北町			
8	西川町			
9	朝日町			
10	大江町			
11	村山市			
12	東根市	生涯学習推進本部(H4)		生涯学習地区民会議(H4)
13	尾花沢市		生涯学習推進協議会(H3)	生涯学習地区推進会議(H3)
14	大石田町			
村山計				
15	新庄市			
16	金山町			
17	最上町		生涯学習のまちづくり推進本部(H2)	地域教育協議会(H20)
18	舟形町			
19	真室川町	生涯学習推進本部(H18)	生涯学習推進検討委員会(H18)	
20	大蔵村			
21	鮭川村			
22	戸沢村	生涯学習推進連絡協議会(H5)	地域と学校づくり推進会議(H12)	戸沢村共育推進研究所(H15)
最上計				
23	米沢市			生涯学習振興委員会(H23)
24	南陽市	生涯学習推進本部(H12)		
25	高島町	生涯学習推進本部(H12)		生涯学習推進懇話会(H12)
26	川西町		生涯学習推進本部(H8)	
27	長井市	教委内生涯学習担当者会議(H11)		
28	小国町			
29	白鷹町	生涯学習推進本部(S52)		
30	飯豊町			
置賜計				
31	鶴岡市			
32	庄内町			
33	三川町	生涯学習推進本部(H10)		
34	酒田市	生涯学習推進委員会(H24)		生涯学習推進市民協議会(H17)
35	遊佐町	生涯学習推進本部(H9)		
庄内計				
合計				

(平成26年4月現在)

No.	市町村	生涯学習振興計画等 ()は作成年度	生涯学習に資する計画等を 教育全般に関する計画とは 別に策定	生涯学習に資する計画等を 策定せず、教育全般に関する 計画等を策定し、その中で生涯 学習について規定
1	山形市	生涯学習基本構想(H5)		○
2	上山市	生涯学習基本構想(H15)	○	
3	天童市	生涯学習推進基本構想(H8)	○	
4	山辺町	社会教育事業計画書(H7)		○
5	中山町	社会教育事業計画書(H7)		
6	寒河江市	寒河江市教育振興計画(H21)改訂版		○
7	河北町	河北町教育振興計画(H18)		○
8	西川町	生涯学習計画(H23)	○	
9	朝日町	生涯学習計画(H14) 教育振興計画(H23)		○
10	大江町	大江町教育振興計画(H21)		○
11	村山市	生涯学習基本計画(H14)	○	
12	東根市	生涯学習実施計画(H4)、生涯学習プログラム(H7)	○	
13	尾花沢市			
14	大石田町			
村山計			5	6
15	新庄市	新庄市長期教育プラン(H17)		○
16	金山町			○
17	最上町			○
18	舟形町			○
19	真室川町	生涯学習推進計画(H24)改訂版	○	
20	大蔵村			○
21	鮭川村	第2次生涯学習振興計画(H24)	○	
22	戸沢村	戸沢村共育プラン(H13)		○
最上計			2	6
23	米沢市	生涯学習振興計画(H14)	○	
24	南陽市	第5次南陽市教育振興計画(H24)		○
25	高畠町	第3次生涯学習推進基本計画(H22)	○	
26	川西町	生涯学習推進計画(H12)	○	
27	長井市	長井市教育振興計画(H25)		○
28	小国町	生涯学習推進計画(H25)	○	
29	白鷹町	生涯学習振興計画(H23)	○	
30	飯豊町			
置賜計			5	2
31	鶴岡市			○
32	庄内町	生涯学習推進基本計画(H20.3策定)	○	
33	三川町	生涯学習基本構想(H9)	○	
34	酒田市	生涯学習推進計画(H25)	○	
35	遊佐町	生涯学習基本構想・基本計画(H8)同後期計画(H14)	○	
庄内計			4	1
合計			16	15

(平成26年4月現在)

No.	市町村	生涯学習宣言都市 ()は宣言年度	学校教育・社会教育の連携推進組織名	生涯学習・学社連携 校務分掌設置学校	
				小学校	中学校
1	山形市				
2	上市市			3	2
3	天童市		生涯学習推進委員会	12	4
4	山辺町				
5	中山町		小中連携委員会	2	1
6	寒河江市			10	3
7	河北町			6	1
8	西川町		生涯学習推進本部会議		
9	朝日町	「生涯教育・学習の町あさひ」宣言(H5)	教育研究所	3	1
10	大江町			2	1
11	村山市			7	2
12	東根市				
13	尾花沢市		尾花沢市すこやかネット花笠推進協議会	10	4
14	大石田町		生涯学習主任会議	3	1
村山計				58	20
15	新庄市		新庄市青少年育成市民会議	9	5
16	金山町		学社融合推進委員会	3	1
17	最上町		学社連携推進委員会	6	1
18	舟形町		学社連携推進委員会	1	1
19	真室川町		学社融合推進研究会	3	1
20	大蔵村		学社融合協議会	1	1
21	鮭川村		鮭川村青少年育成村民の会	1	1
22	戸沢村		地域と学校づくり推進会議	1	1
最上計				25	12
23	米沢市		米沢市小中学校生涯学習教諭 ・コミュニティセンター等主事合同研修会	18	8
24	南陽市			7	3
25	高島町				
26	川西町	川西町生涯学習まちづくり宣言(H11)	生涯学習担当者会	8	3
27	長井市			6	2
28	小国町			2	2
29	白鷹町			5	2
30	飯豊町			4	1
置賜計				50	21
31	鶴岡市			37	11
32	庄内町		教育研修所	5	2
33	三川町		学校・保育園・幼稚園・社会教育連絡会議	3	1
34	酒田市			25	7
35	遊佐町		学校・社教・まちづくり協議会連絡協議会	5	1
庄内計				75	22
合計				208	75

(11) 文部科学大臣表彰一覧 (過去10カ年)

年 度	優良公民館表彰	優良PTA表彰	社会教育功労者表彰	視聴覚教育功労者表彰
平成16年度	酒田市東平田公民館 川西町吉島地区公民館	山形八小 (山形市) 八向中 (新庄市) 鶴岡養護学校	該当者なし	太田邦夫 (高島町)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 川西町立図書館 図書館ボランティアかやのみ会 (新庄市)			
平成17年度	酒田市広野公民館 米沢市田沢公民館	北辰小 (新庄市) 山形八中 (山形市) 山形南高	荒川喜一 (戸沢村)	奥山幹夫 (村山市)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 河北町立中央図書館 図書館ボランティアあさの葉会 (酒田市)			
平成18年度	天童市立高掬公民館 飯豊町中津川公民館	三瀬小 (鶴岡市) 南原中 (米沢市) 酒田北高	半田 豊 (新庄市)	遠藤文子 (上山市)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 尾花沢市民図書館 ボランティアサークル Spoonの会 (上山市)			
平成19年度	酒田市西荒瀬公民館	山形十小 (山形市) 栄小 (鶴岡市) 山形ゆきわり養護	松澤直太郎 (真室川町) 青柳和夫 (高島町)	菊地千代吉 (寒河江市)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 庄内町立図書館 おはなしサークル「きつねのボタン」(金山町)			
平成20年度	真室川町中央公民館 村山市袖崎地区公民館	本沢小 (山形市) 萩野中 (新庄市) 山形西高	新宮 隆 (西川町)	中里 健 (鶴岡市)
	子ども読書活動優秀実践図書館表彰 寒河江市立図書館			
平成21年度	南陽市赤湯公民館 鶴岡市朝日中央公民館	港南小 (酒田市) 平枝小 (真室川町) 山形東高	該当者なし	大類武敏 (尾花沢市)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 高島町立図書館 おはなし会ポケット (鶴岡市)			
平成22年度	高島町亀岡地区公民館 遊佐町立吹浦公民館	米沢西部小 (米沢市) 山形九中 (山形市) 鶴岡中央高温海校	森 一男 (米沢市) 山口 康夫 (長井市)	小関 薫 (米沢市)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 白鷹町立図書館 おはなし会きらきら (川西町)			
平成23年度	上山市本庄地区公民館 白鷹町十王地区公民館	三泉小 (寒河江市) 赤倉小 (最上町) 酒田市立酒田中央高	舛田 忠男 (山形市) 鈴木 優子 (山形市)	片桐 健二 (米沢市)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 長井市立図書館 サークル夢空間 (米沢市)			
平成24年度	該当なし	東根中部小 (東根市) 山形三中 (山形市) 山形工業高	齋藤 浩一 (天童市) 梁瀬 茂登 (酒田市)	本田 富 (川西町)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 南陽市立図書館 八幡よみきかせ隊 (酒田市)			
平成25年度	天童市立平布公民館 上山市中川地区公民館	尾花沢小 (尾花沢市) 明安小 (金山町) 長井工業高	東山 昭子 (鶴岡市) 榎 貞男 (寒河江市)	名木野 功 (尾花沢市)
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体(者)表彰 村山市立図書館 いっちゃん会 (寒河江市) 優れた「地域による学校支援活動」表彰 もがみサポート塾 (最上町) 和田地区学校支援地域本部 (高島町) 西川町放課後子ども教室 (西川町)			

